

# 神流町健康増進計画

(健康かな 21 第3次)



計画期間: 令和 7 年度～令和 18 年度





## 神流町健康増進計画(第3次)策定にあたって

生涯にわたり、健やかで心豊かな毎日を過ごすことは、誰もが望む共通の願いです。

本町では、平成27年に「健康増進計画(第2次)」(以下「第2次計画」)を策定し、基本方針を「すべての町民が心身共に健康でその人らしく生活できる町」のもと、施策の取組を推進してまいりました。

この間、少子高齢化の進展や、価値観・ライフスタイルの多様化など、社会環境は大きく変化しております。社会環境の変化は、食生活や睡眠など人々の生活習慣にも影響を及ぼし、がんや糖尿病といった生活習慣病の発症にも繋がっています。

また、近年の新型コロナウイルス感染症の影響によって、生活様式及び健康に対する意識にも変化が生じており、今後は、生活習慣病だけでなく、社会構造上の課題や社会情勢の変化により生じる多様な健康課題を解決していくために、より一層柔軟かつ積極的に施策を展開していく必要があります。

このような中、第2次計画期間が令和6年度をもって終了となることから、これまでの取組について評価、検証を行い、新たな健康課題や社会情勢などを踏まえた総合的な健康づくりを進めるため、「神流町健康増進計画(第3次)」(以下「本計画」)を策定いたしました。

本計画は、令和7年度から令和18年度までの12年間で推進期間とし、町民の皆様の生涯にわたる健康づくりの支援と、社会環境の質の向上を通じて健康寿命の延伸の実現を目指しております。

今後、全ての町民の皆様と行政が一体となって本計画を推進してまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました神流町健康増進計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



令和8年3月

神流町長 坂本 英夫

# 目次

<b>I</b>	<b>基本的な考え方</b>	
1	計画の趣旨	1
2	計画の期間	1
3	法的根拠	1
4	計画の構成と位置づけ	2
<b>II</b>	<b>神流町の保健の現状</b>	
1	人口・世帯数及び年齢3区分の推移	3
2	出生数の推移	6
3	死亡の原因と推移	7
4	疾病分類別医療費の割合（国民健康保険）	8
5	疾病分類別医療費の割合（後期高齢者医療保険）	9
6	疾病別受診率（国民健康保険）	10
7	疾病別受診率（後期高齢者医療保険）	11
8	各種健（検）診受診率	12
9	保健事業一覧	13
10	基本方針と基本目標	14
<b>III</b>	<b>各世代の現状と課題</b>	
1	胎児期・乳幼児期・学齢期	15
2	働き世代	17
3	高齢者世代	19
<b>IV</b>	<b>目標と施策</b>	
1	栄養・食生活	21
2	運動	22
3	休養・こころの健康	23
4	お口の健康	24
5	生活習慣病	25
6	たばこ・アルコール	26
7	健康危機管理	27
<b>V</b>	<b>健康かな 21（第2次）最終評価と統計資料</b>	
1	最終評価	28
2	統計資料	33
<b>VI</b>	<b>推進体制</b>	
1	神流町健康増進計画策定委員会条例	50
2	策定委員名簿	51
3	策定経過	52

# I 基本的な考え方

---

## 1 計画の趣旨

本町は、平成 27 年度に神流町健康増進計画と食育推進計画を兼ねた計画「健康かな21(第2次)」を作成し、これに基づいて各種健康づくり事業を実施し、住民一人ひとりが世代や障害の有無に関わらず、健康で幸せに暮らせるよう、各種事業の展開を進めています。

しかしながら、本町においては、高齢化の進行とともに、がん、循環器病などの割合が増加しており、生活習慣病の発症予防や重症化予防、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上を実現するための取り組みが一層求められています。

このような中、令和5年度に本町が策定した第3次神流町総合計画の「町民幸福度アンケート」によると、町民が幸福感を判断する際に最も重視している項目は「健康状況」で、他項目と比較し、突出して高くなっています。また、同アンケートによる施策の満足度・重要度においても「健康づくりの推進」は高い数値となっています。

このようなことから、継続して町民が幸せを感じながら日々の生活を過ごすことができるよう、神流町における健康の増進を総合的かつ計画的に推進するため「神流町健康増進計画(健康かな 21(第3次))」を策定し、全ての町民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な活力ある健康長寿社会の実現を目指します。

## 2 計画の期間

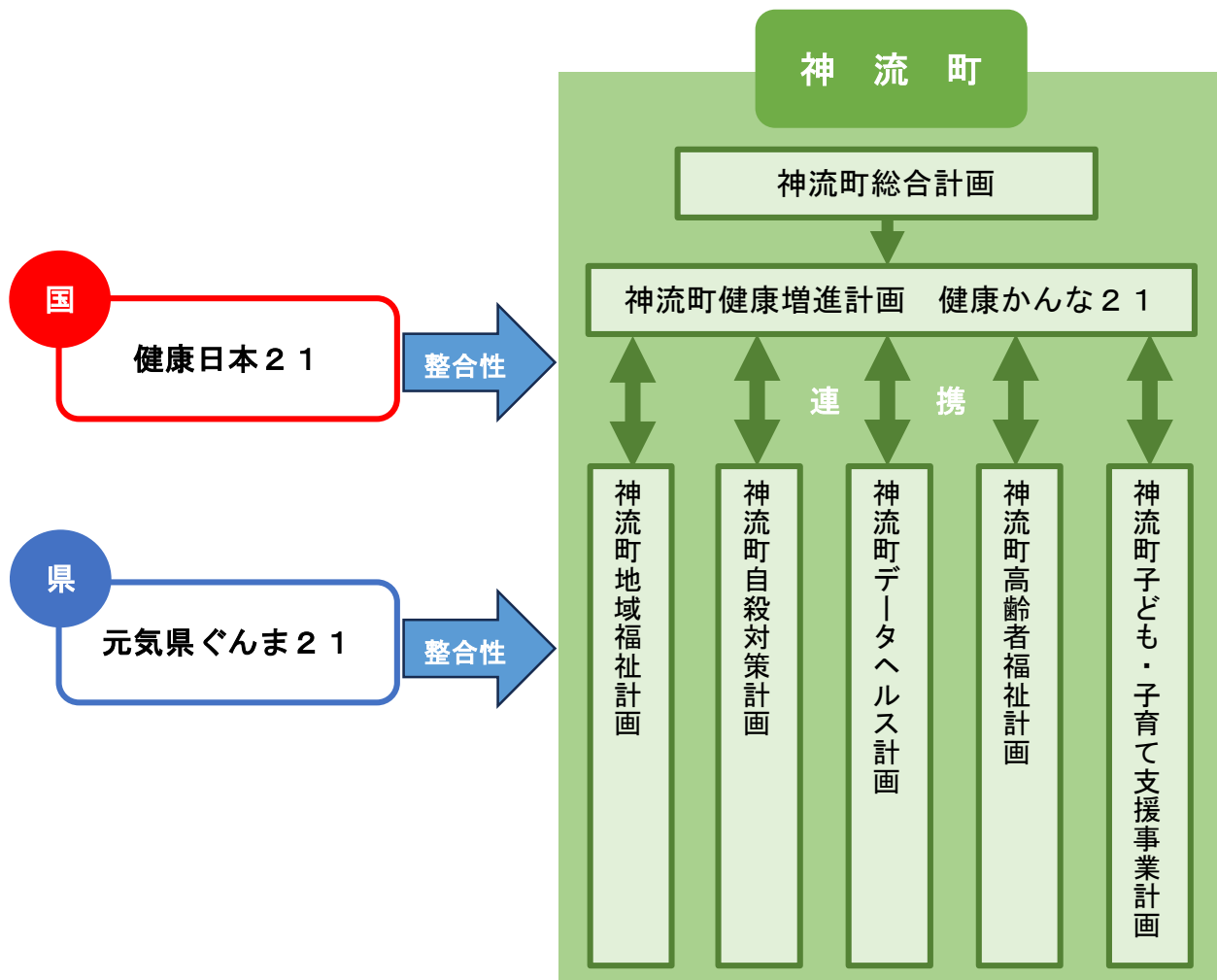
本計画の期間は、令和7年度から令和18年度までの12年間とします。また、令和12年度(計画期間6年目)までに把握した値により、令和13年度に中間評価を行います。

## 3 法的根拠

本計画は、「健康増進法」第8条第2項の規定に基づく市町村健康増進計画で、国が示す「健康日本21」と群馬県が示す「元気県ぐんま21」、他の保健、医療または福祉に関する事項を定める計画と調和を取り策定しています。

#### 4 計画の構成と位置づけ

本計画は、神流町総合計画を上位計画とし、平成 27 年9月に策定された「神流町健康増進計画(第2次)(健康かな 21)」の後継計画です。なお、本計画は、神流町食育推進計画、神流町健やか親子 21 を兼ね、関係する法令や条例により、以下に示すとおり位置付けられた計画です。



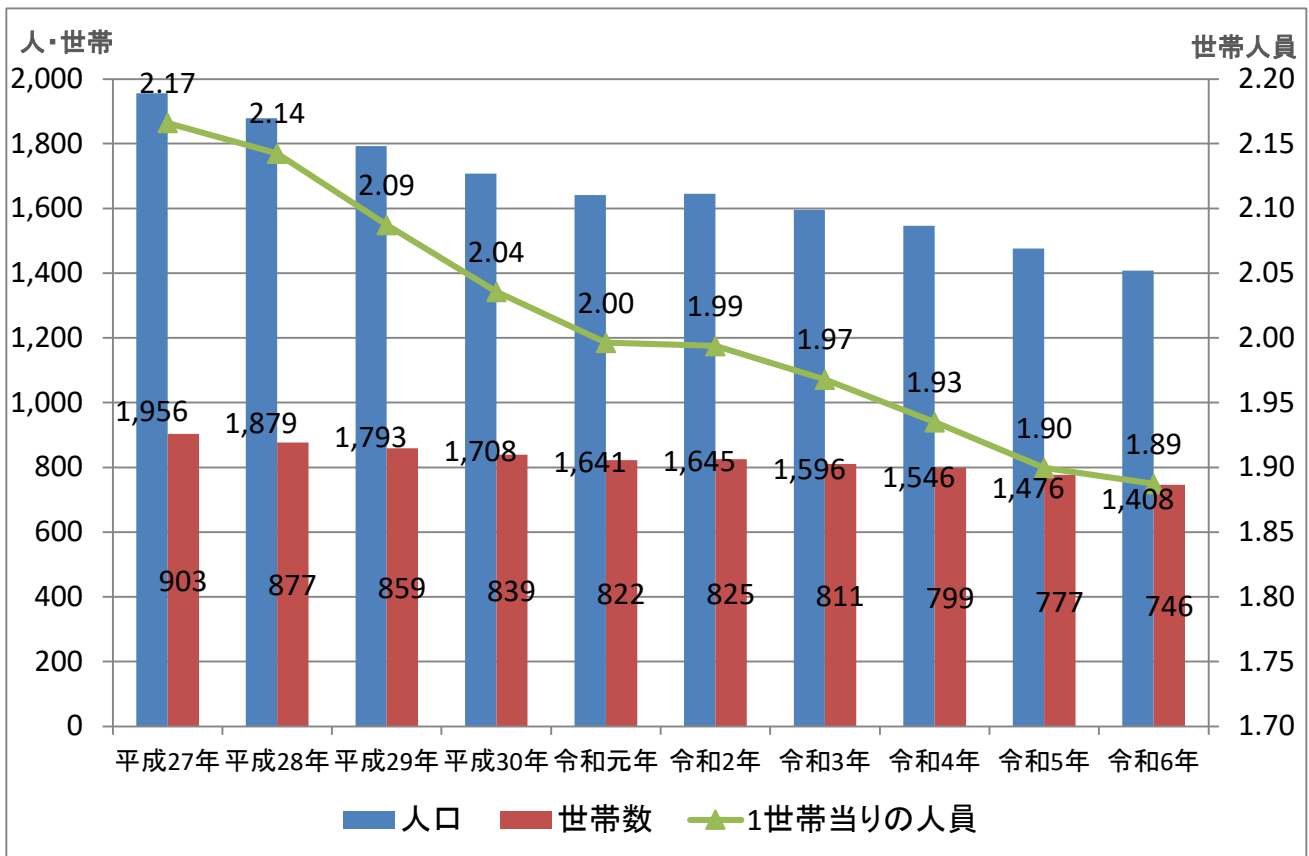
## II 神流町の保健の現状

### 1 人口・世帯数及び年齢3区分の推移

神流町健康増進計画(第2次)期間における平成27年から令和6年までの人口の推移(図1)をみますと、人口で548人、世帯数は162世帯減少しています。また、1世帯当たりの人員の推移も令和2年に2人を割り込み、独居世帯の増加がみられます。

図1 人口と世帯数・1世帯当たりの人員の推移

(単位:人)

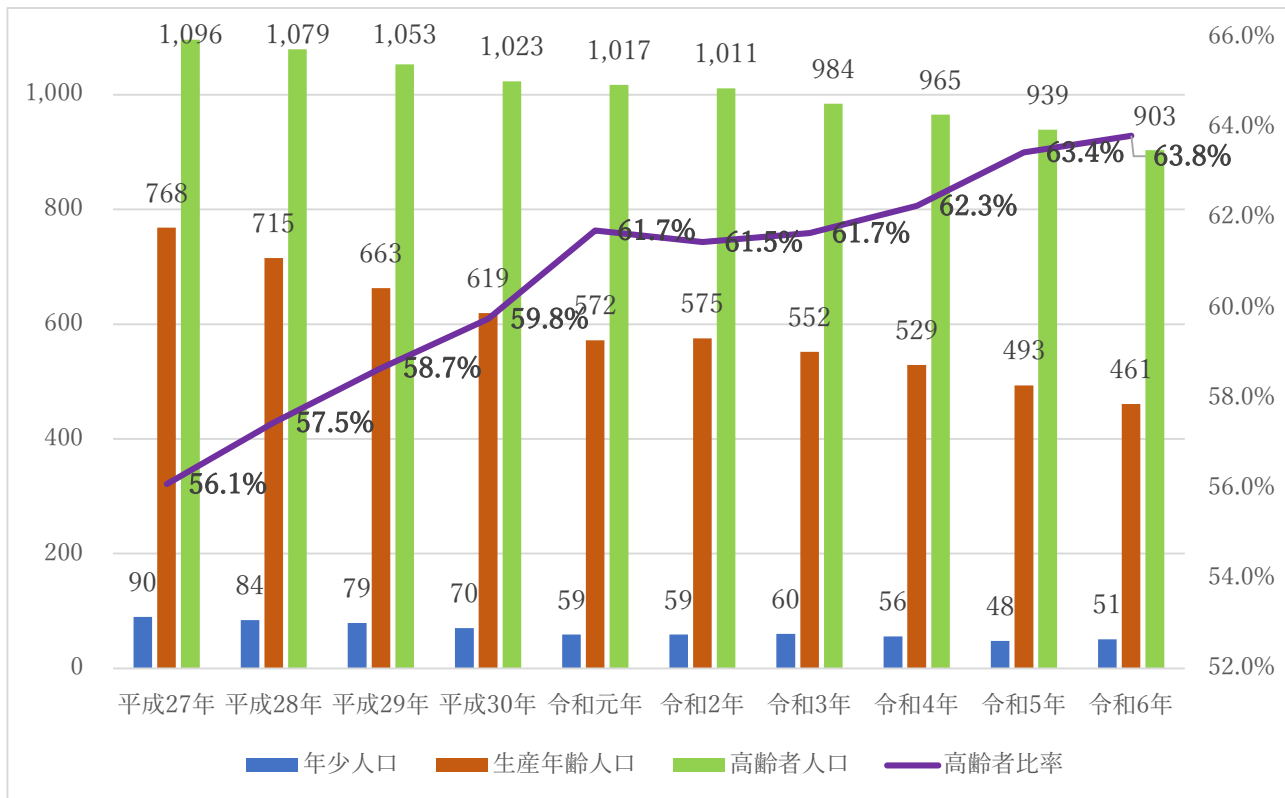


(出典:群馬県移動人口調査)

年齢3区分別人口の推移(図2)をみても、年少人口は90人から51人へ減少、高齢者人口は1,096人から903人へ減少しているものの、高齢者比率は上昇を続けていることから、少子高齢化の進行に歯止めがかからない状況にあります。

図2 年齢3区分別人口の推移

(単位:人)

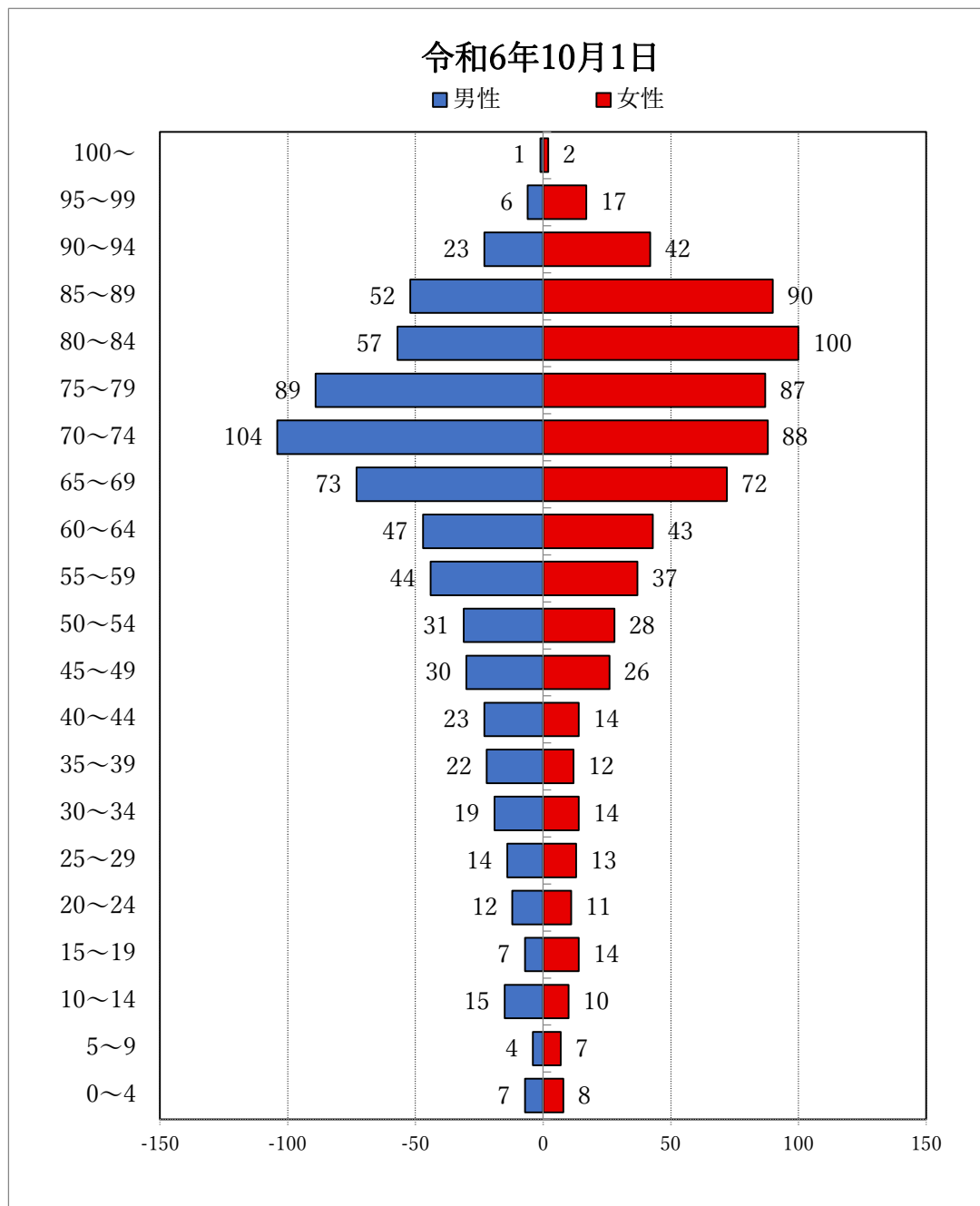


(出典:群馬県年齢別人口統計調査)

男女別年齢階層人口構成(図3)では、65歳代から80歳代が最も多く、今後も高齢化の進展が予測されます。

図3 男女別年齢階層人口構成

(単位:人)



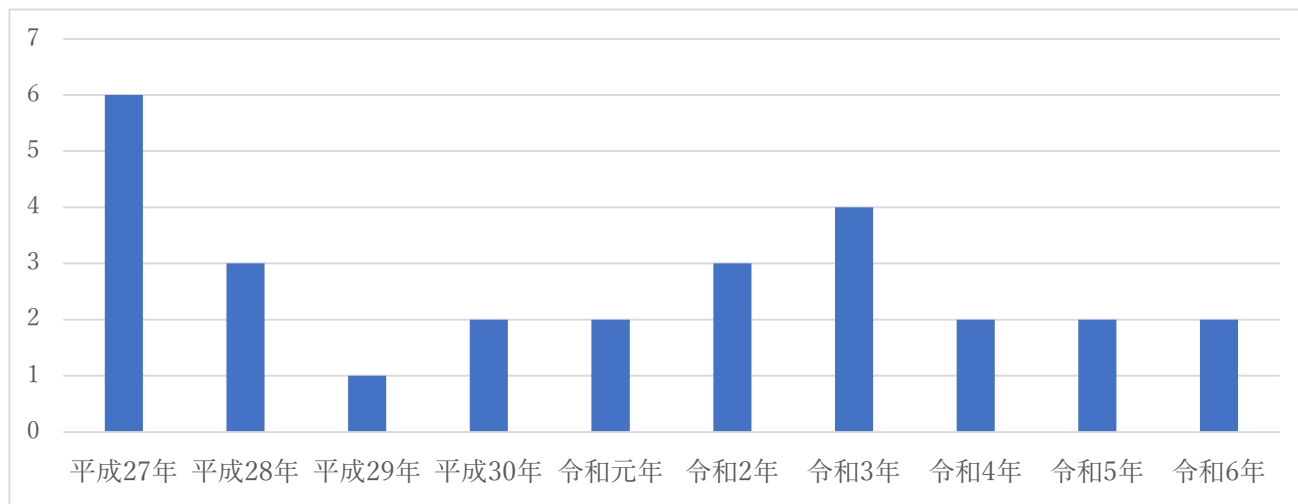
(資料:群馬県年齢別人口調査)

## 2 出生数の推移

出生数(図4)はここ数年2人と少数で推移しています。出生率は神流町が 1.4、群馬県が 5.4(令和5年群馬県人口動態統計:人口千人あたり)であり、県内市町村では最下位です。この傾向は、妊娠可能な若年者の人口が少ないことや婚姻件数の減少から今後も低い水準で推移していくことが予想されます。

図4 出生数の推移

(単位:人)



(出典:群馬県人口動態統計概況)

### 3 死亡の原因と推移

令和5年の死亡者の主な死因(図5)では、悪性新生物の死亡率が多く、次いで老衰、心疾患の順となっています。経年的(図6)に見ると年度によってばらつきがありますが、悪性新生物、心疾患、老衰が多く、脳血管疾患は減少傾向にあります。

死亡率では、神流町 40.0、県では 14.6(令和5年群馬県人口動態統計:人口千人あたり)であり、県内市町村の最高位です。

図5 死亡者の主な死因(令和5年) (単位:%)

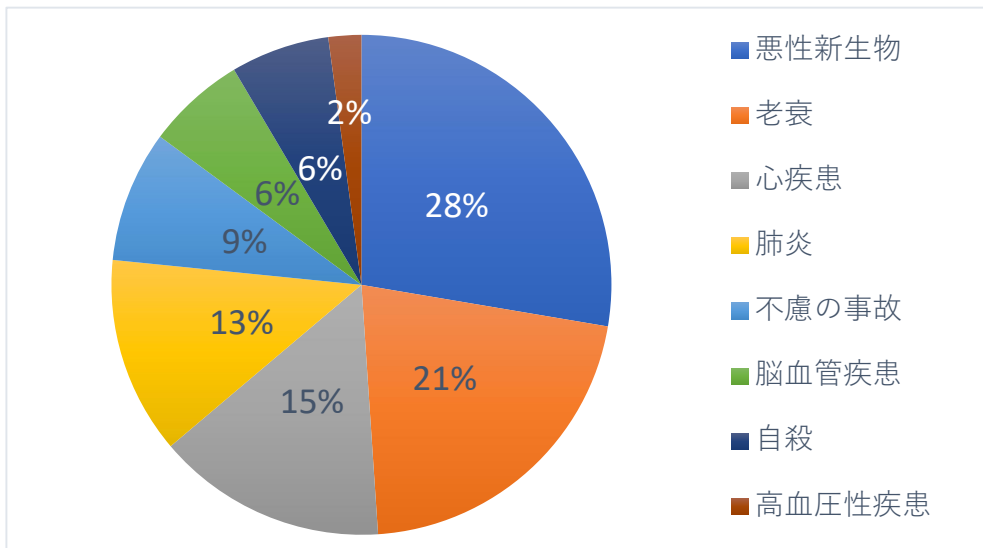
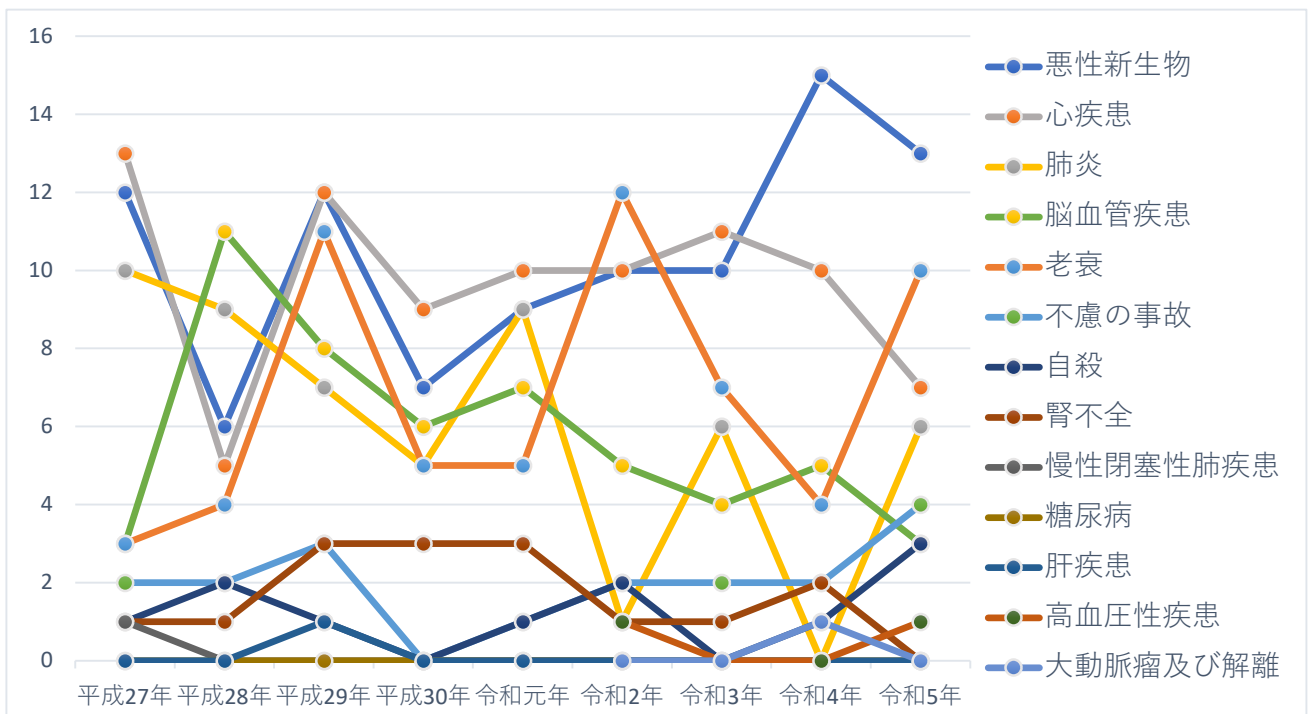


図6 死亡者の主な死因の推移 (単位:人)



(出典:群馬県人口動態統計概況)

#### 4 疾病分類別医療費の割合(国民健康保険)

直近の令和6年の入院(図7)では、精神(統合失調症)、神経(脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、パーキンソン病)が多く、次いで循環器(虚血性心疾患)の順となります。精神、神経は、経年的に見ても最高位を示しており、長期入院が課題となっています。

外来(図8)では、内分泌(糖尿病、脂質異常症)、循環器(高血圧症、不整脈)が多く、直近では眼(緑内障、白内障)、尿路性器(慢性腎臓病)の割合が高い傾向がうかがえます。

図7 入院

(単位:%)

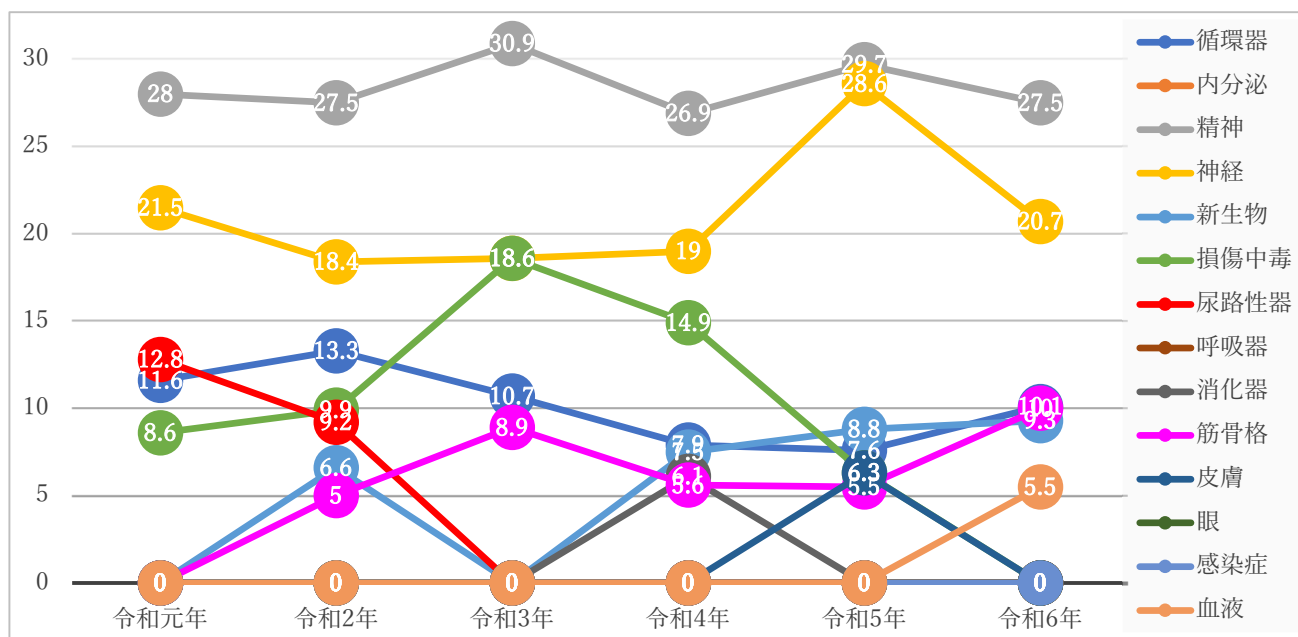
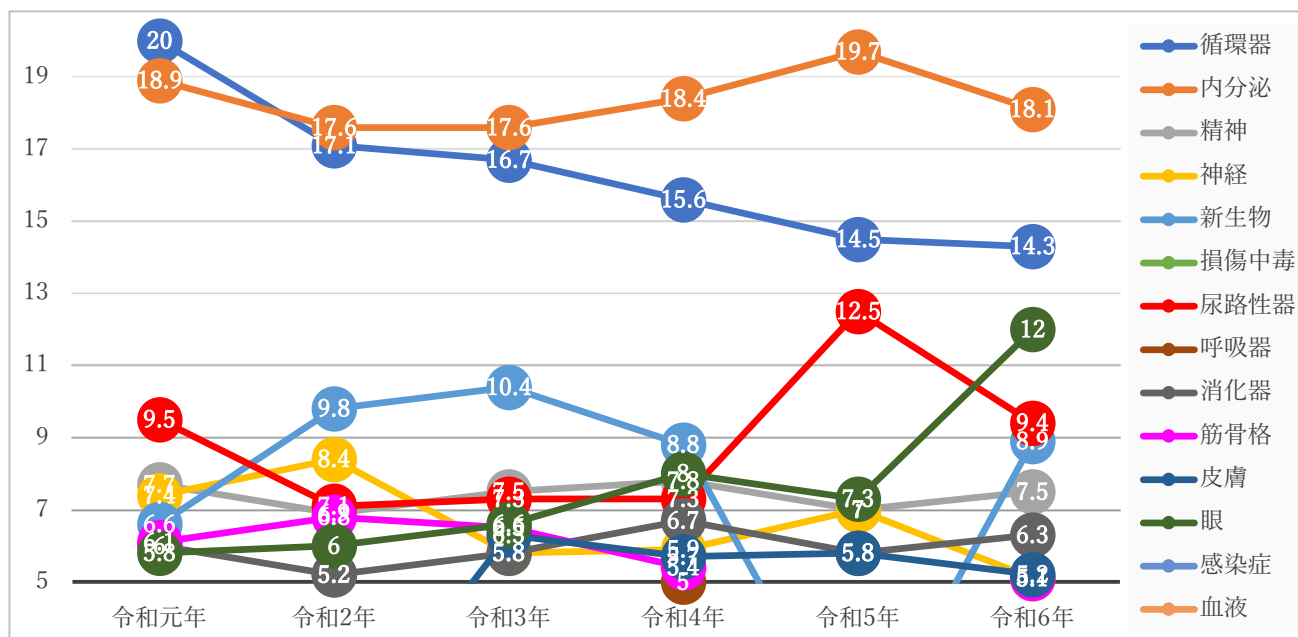


図8 外来

(単位:%)



(出典:KDB 帳票 医療費分析(2)大、中、細小分類)

## 5 疾病分類別医療費の割合(後期高齢者医療保険)

直近の令和6年の入院(図9)では、循環器(脳梗塞、狭心症、不整脈)、筋骨格(筋骨格系及び結合組織の疾患)が多く、次いで損傷中毒(骨折)の順となります。循環器は、経年的に見ても最高位を示しております。

外来(図10)では、循環器(高血圧症、不整脈)、新生物(悪性新生物)、内分泌(糖尿病、脂質異常症)の割合が高い傾向がうかがえます。

図9 入院

(単位:%)

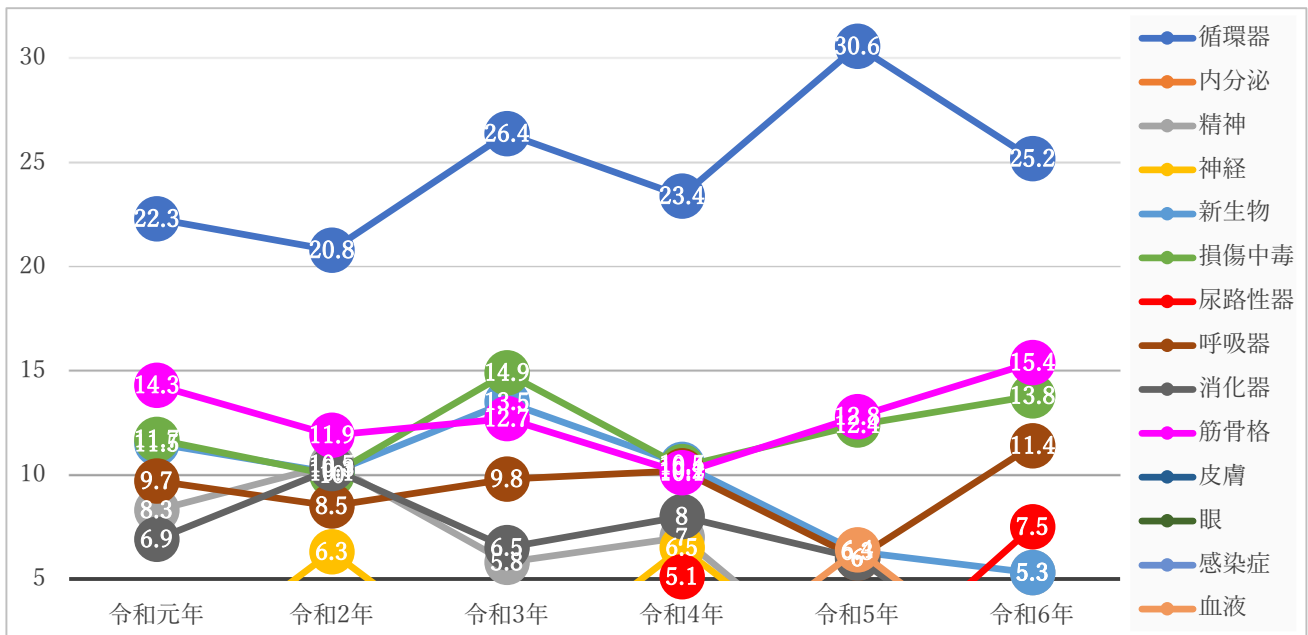
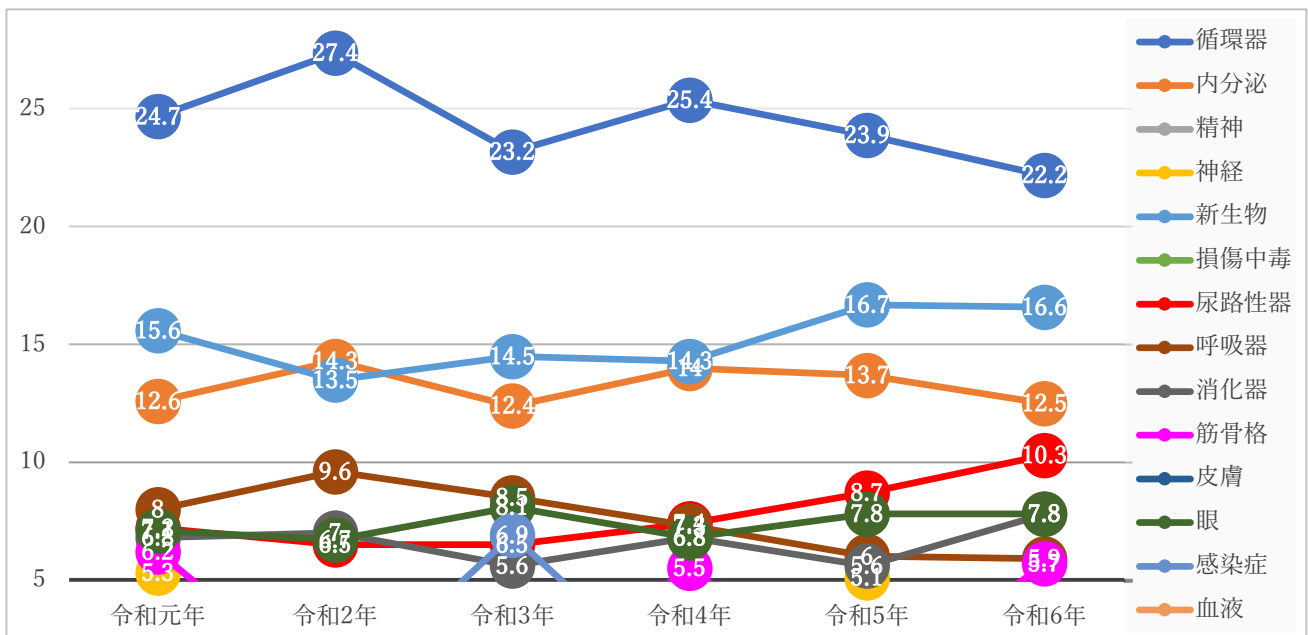


図10 外来

(単位:%)



(出典:KDB 帳票 医療費分析(2)大、中、細小分類)

## 6 疾病別受診率(国民健康保険)

令和6年の疾病別受診率の入院(図 11)では、統合失調症が突出して多く、うつ病、パーキンソン病、大腸がん、骨折の順となります。

外来(図 12)では、脳血管疾患や虚血性心疾患、腎症などにつながる高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの受診傾向が高いことがうかがえます。

図11 入院

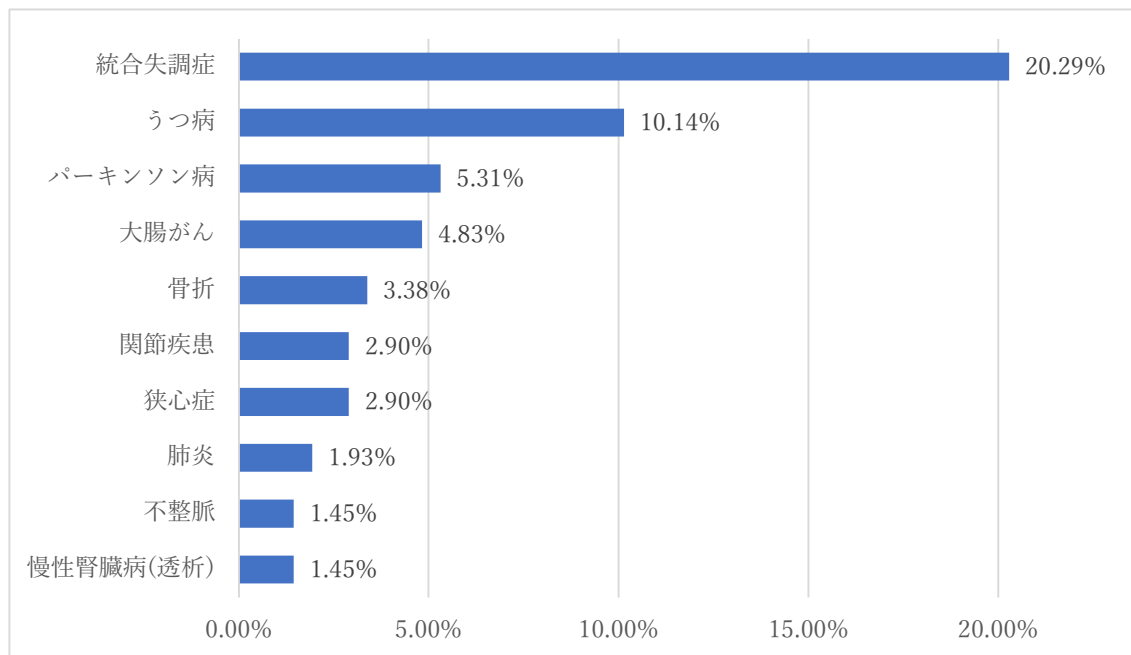
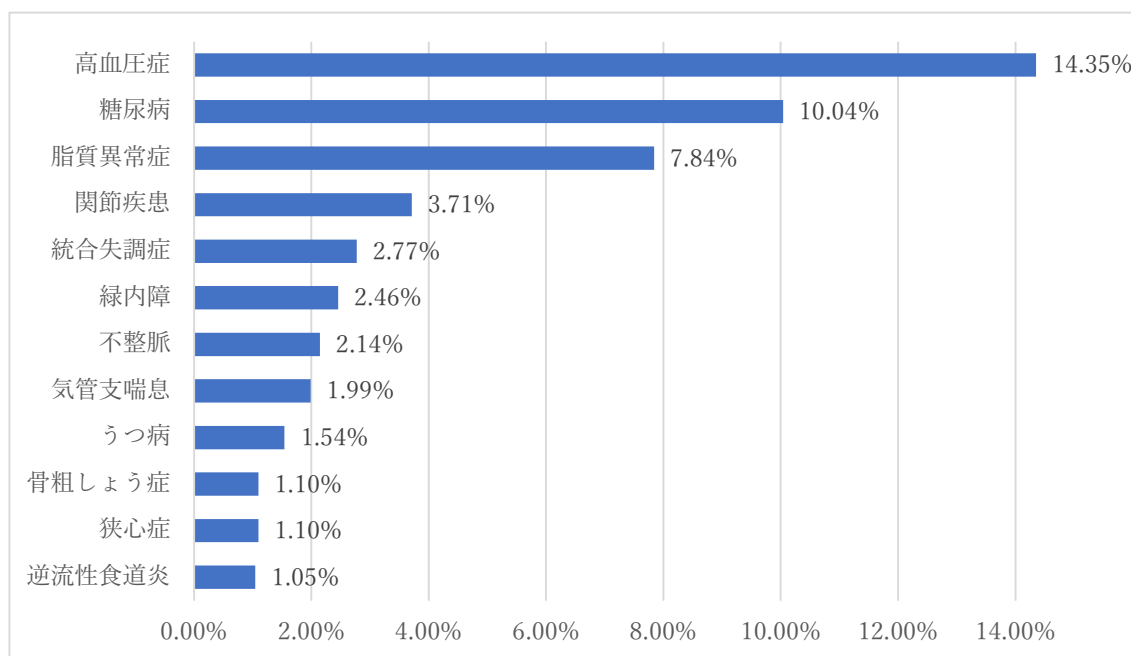


図12 外来



(出典:KDB 帳票 疾病別医療費分析(細小 82 分類))

## 7 疾病別受診率(後期高齢者医療保険)

令和6年の疾病別受診率の入院(図 13)では、骨折、脳梗塞、統合失調症の受診率が高い傾向にあります。

外来(図 14)では、国民健康保険と同様に高血圧症、糖尿病、脂質異常症などのほか、不整脈、狭心症などの心疾患の受診傾向が高いことがうかがえます。

図13 入院

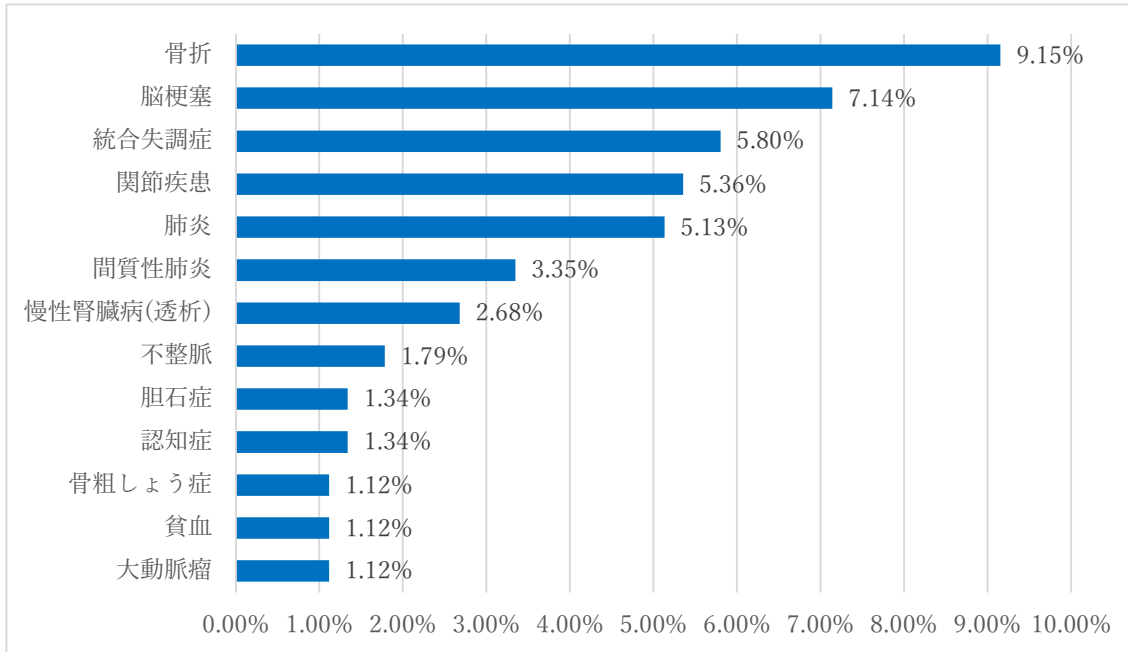
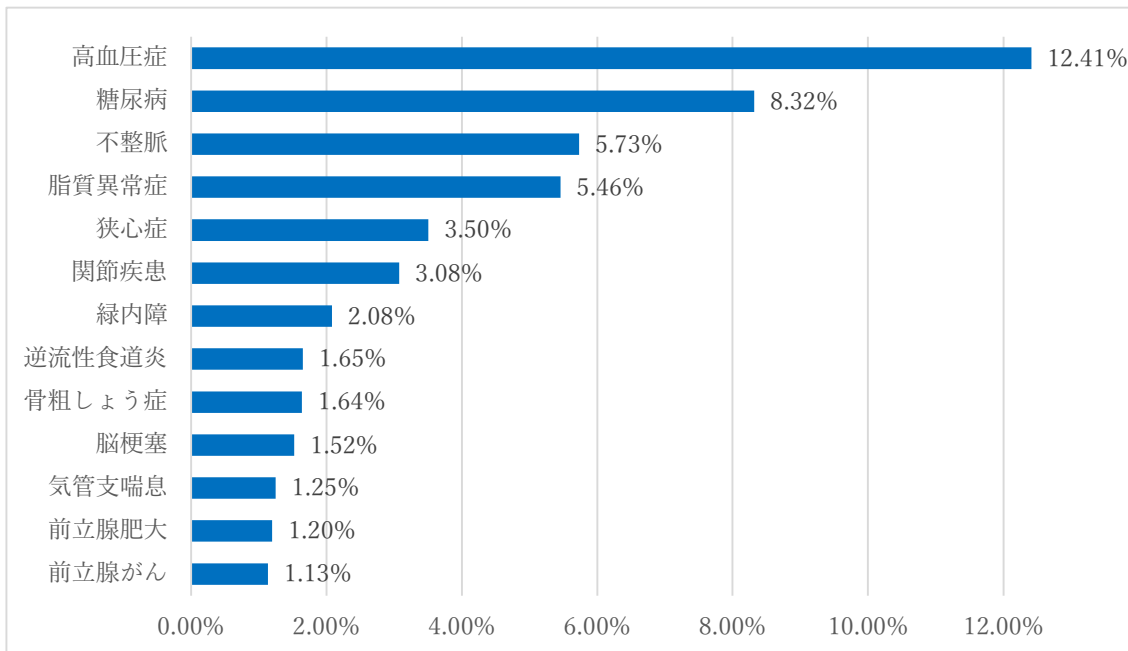


図14 外来



(出典:KDB 帳票 疾病別医療費分析(細小 82 分類))

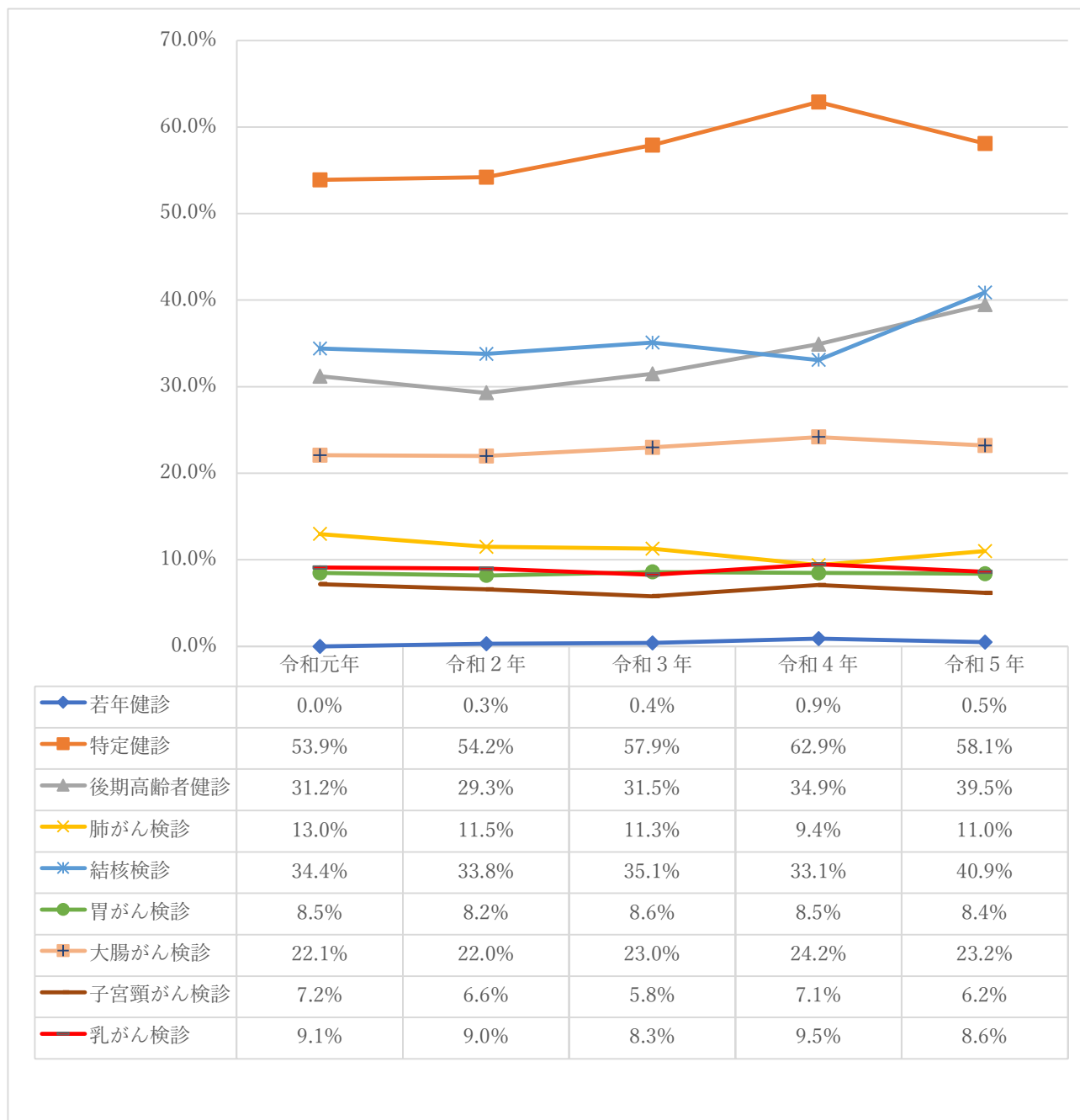
## 8 各種健(検)診受診率

各種健(検)診受診率(図15)は、概ね横ばいであるが、特定健診受診率及び後期高齢者健診受診率は緩やかな増加傾向にあります。

特に、特定健診は58.1%(令和5年度)と全国平均の特定健診数値38.2%(国民健康保険中央会)を大きく上回り、また、後期高齢者健診においても39.5%(令和5年度)と全国平均の後期高齢者健診数値28.1%(厚生労働省)を上回っています。

一方で、健康や生活習慣病に関する意識の醸成のため、受診率が低い、若年健診の勧奨をすすめる必要があります。

図15



(出典:KDB、健康増進事業報告書、健康かるて)

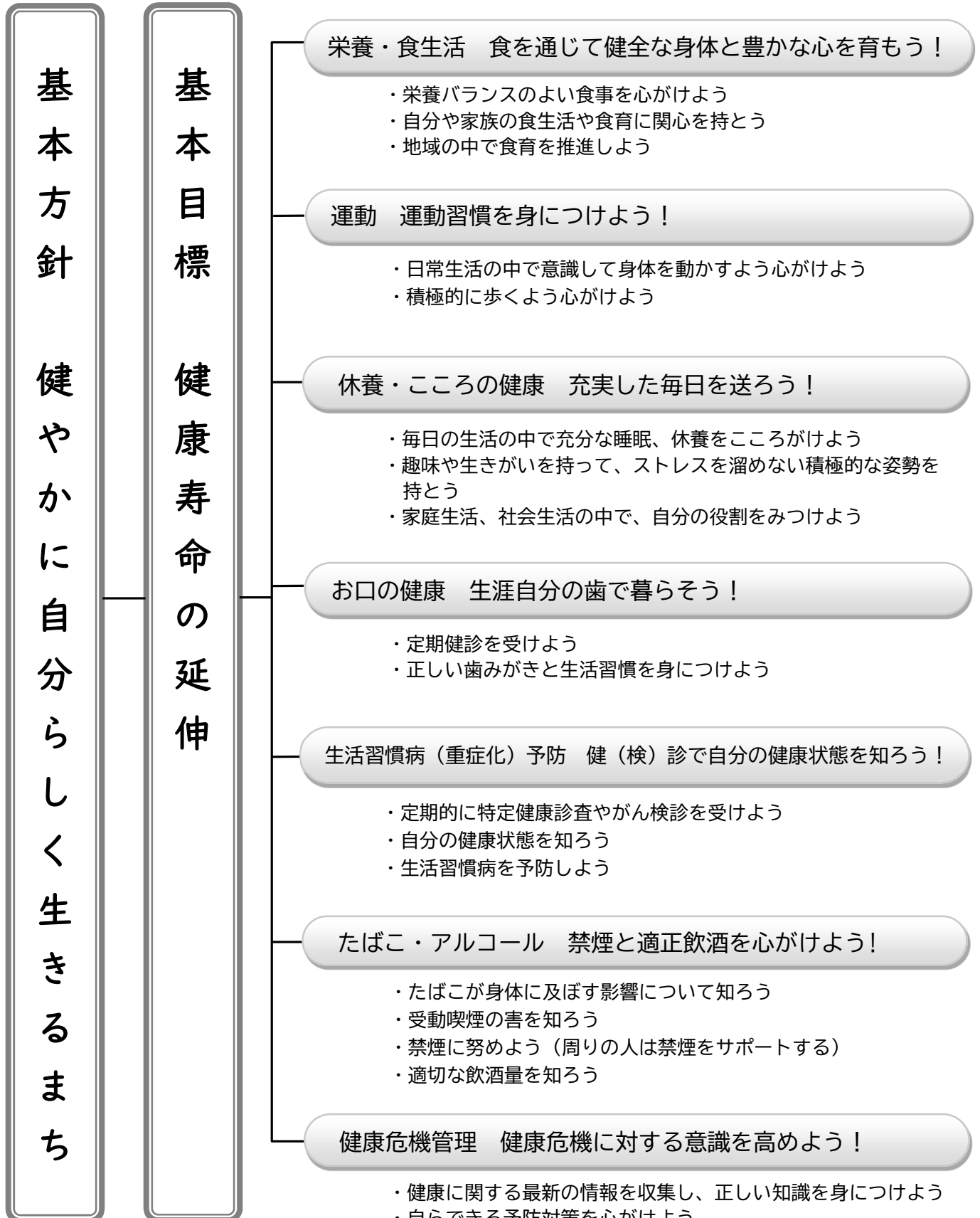
## 9 保健事業一覧

※令和7年度事業

分野	事業名	内容	
母子保健	妊婦・新生児・産婦訪問	妊婦(妊娠 34 週頃)、産婦・新生児を対象とした訪問(全数訪問)。	
	産後ケア事業	町が委託した機関において、日帰りや宿泊により、産後のお母さんの心身の休息や赤ちゃんのケアなどが受けられる事業。	
	乳幼児健診・幼児歯科健診※上野村と合同	年 4 回、乳幼児健診(乳児、1歳6か月児、3歳児)、歯科健診を実施。保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士等による個別相談やフッ素塗布(希望者)も同時実施。	
	5歳児健診	上野村と合同で年 4~5 回実施。集団遊び等を通して主に発達面を確認する。	
	ことばの相談・発達相談	言語聴覚士や公認心理師による専門的な相談を実施。 ※対象者がいる場合に実施	
	両親学級	妊婦とその家族へ向けた妊娠・出産に関する知識や技術の普及に関する教室(沐浴指導等)。	
	育児学級	子育て中の家族のための、育児に関する知識や技術の普及に関する教室。	
保育所・学校保健	保育所歯科指導	神流町保育所に通う幼児を対象とした歯科指導。寸劇、赤染、ブラッシング指導、フッ素洗口の練習など実施。	
	小・中学校・高校 歯科指導	万場小学校、中里中学校、万場高校の児童・生徒を対象とした歯科指導。赤染、ブラッシング指導など実施。	
	フッ素洗口説明会	フッ素洗口の実施に向け、保護者に対するフッ素洗口の説明会。翌年度に年少クラスに進級する児の保護者が対象。	
食育	学童のおやつ作り	夏休みの期間に学童に出向き、食育紙芝居と郷土料理のおやつを提供。	
	おやこの食育教室	親子が調理体験をすることで食事の大切さを学び、併せて親子のコミュニケーションの場を提供する。また、郷土料理の伝承も行う。	
	生涯骨太クッキング	骨粗しょう症に関する講話とカルシウムやビタミン D が豊富なレシピの調理実習の実施。	
	やさしい在宅介護食教室	介護食についての講話と介護食の調理実習の他、市販の介護食、栄養補助食品の試食や実際に水分にとろみをつける体験等を実施。	
	郷土・伝統料理教室	小学校の学校農園で子ども達が作った赤じゃがを使い、小学3・4年生と赤じゃがの味噌炒めの調理実習を実施。	
	ヘルスサポート一を通じた地域をつなぐ健康プロジェクト	若者世代	中学校で朝食や野菜摂取等の栄養講話と朝食をテーマとした調理実習を実施。
		働き世代	神流川森林組合で、栄養講話と野菜料理等を試食として提供。
高齢世代		オレンジカフェで栄養講話と、おやつを提供。	
健康増進	健康診査・がん検診	健康診査、がん検診(胃、大腸、結核・肺、子宮、乳、前立腺)、胃がんリスク検診、喀痰検査、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診、骨密度検診を実施。	
	節目年齢個別歯科健診	20 歳~60 歳までの 5 歳刻みの節目年齢の方に対して個別歯科健診を無料で実施。神流町歯科診療所に委託。	
	特定保健指導	生活習慣病の発症リスクが高いと判定された方に保健師や管理栄養士等が生活習慣の改善に向けた面談を行う。	
	重症化予防	健診を受診し、医療機関への受診勧奨対象者となった方に保健師・栄養士が電話又は訪問で受診勧奨を行う。	
	健診結果説明会	保健師と栄養士が検査数値や生活習慣のポイントについてわかりやすく説明。町の健診以外の、人間ドックや会社の健診を受診した方も参加可能。	
	定期健康相談	専門職種による健康相談会。健康づくり支援センターおよび保健福祉センターにてそれぞれ月 1 回開催。保健師・栄養士の相談の他、健康運動指導士、歯科衛生士の相談日もある。	
	さわやか運動教室	健康運動指導士によるストレッチやリズム運動を行い、運動を習慣化することがねらいの教室。	
	糖尿病予防教室	住民の糖尿病の発症・重症化予防を目的とし、糖尿病についての知識と日常の生活習慣を改善する方法について学ぶ教室。	
	健康ポイント事業	指定された健康づくりメニューに取り組みポイントをためると特典がもらえる、住民の健康づくりを応援する事業。対象は 20 歳以上の住民。事前申請が必要。	
介護予防(地域包括支援センター事業)	体操番組制作放映(ケーブルテレビ)	健康運動指導士による健康体操の番組を制作し、ケーブルテレビで定時放映。	
	おたっしや運動教室	ゆつくりとしたストレッチや筋力体操等を行い、体の機能向上や脳の活性化を図ることを目的とした教室。	
	元気はつらつ教室	元気な生活を送るために必要な『食べること』に焦点を当てた介護予防教室。栄養やお口に関する講話、調理実習等を実施。	
	脳若教室	電子機器を使用して、ゲーム感覚で簡単な脳力トレーニングができる教室。	
	ノルディック・ウォーク講習会	2本のポール(杖)を持って歩くことで、介護予防、リハビリ、姿勢矯正などにつながる、ウォーキング・エクササイズを実施。	

## 10 基本方針と基本目標

町民一人ひとりが笑顔あふれ、楽しく心豊かな生活を送るために、そして生涯を通じて健康であるよう、基本方針を「健やかに自分らしく生きるまち」とします。



### Ⅲ 各世代の現状と課題

町民を対象とした健康に関するアンケートの結果や統計資料により、明らかになった町民の意識と現状・課題を、「胎児期・乳幼児期・学齢期」、「働き世代」、「高齢者世代」の 3 つの世代に分け、この後設定する目標値の項目「栄養・食生活」「運動」「休養・こころの健康」「歯の健康」「生活習慣病」「たばこ・アルコール」「健康危機管理」の 7 つの項目ごとにまとめました。

#### 【 胎児期・乳幼児期・学齢期 】

##### 〈現状〉

分野	町の取り組み(●)、乳幼児健診問診票・小中学校健康調査等集計結果(○)
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●両親学級で妊娠期に必要な栄養に関する指導やおすすめメニューの試食などを実施しています。</li> <li>●乳幼児健診時に栄養相談を実施しています。</li> <li>●学童保育・小学校・中学校において食生活改善推進員と連携しながら食育に関する取り組みを行っています。</li> <li>○学齢期において、苦手な野菜がある児童・生徒の割合は、小学生で 6 割以上、中学生で半数以上となっています。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生の約 4 割は、1 回 30 分以上の運動・スポーツをする頻度が週 1 ～2 日にとどまっています。</li> </ul>
休養・こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出産した母親向けに産後ケア事業を実施しています。</li> <li>●中学校でゲートキーパー養成講座を実施しています。</li> <li>○学齢期の就寝時間は、22 時以降に寝る小学生は 25%、23 時以降に寝る中学生は 57.2%です。また、中学生アンケートにおいて「学校で眠くなるのがよくある・ときどきある」と回答した割合が 7 割を超えています。</li> <li>○中学生の学習以外のメディアの使用頻度が 2 時間を超える生徒が 7 割を超えています。</li> </ul>
お口の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦歯科健診を無料で実施しています。</li> <li>●乳幼児健診時に歯科健診やブラッシング指導、希望者にはフッ素塗布を実施しています。</li> <li>●保育所でフッ素洗口を実施しています。</li> <li>●保育所・小学校・中学校・高校で歯科指導教室を実施しています。</li> <li>○乳幼児健診(1 歳 6 か月児、3 歳児)の虫歯保有率は 0%です。</li> </ul>
生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊産婦健診・乳幼児健診・学校健診を実施しています。</li> </ul>
たばこ・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>●たばこによる、胎児・子どもたちへの健康への影響を周知しています。</li> <li>●妊娠中・授乳中の飲酒のリスクについて周知しています。</li> <li>○妊婦の喫煙率・飲酒率は 0%です。</li> </ul>
健康危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染症予防に関する普及啓発をしています。</li> <li>●乳幼児の事故防止に関する普及啓発をしています。</li> <li>●乳幼児期に受ける予防接種の勧奨を行うとともに、予防接種の体制を整備しています。</li> </ul>

## 〈課題〉

分野	内容
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期において「間食の時間が決まっていない」、「甘い飲み物・食べ物が多い」幼児が多く、対策が必要です。</li> <li>・朝食を必ず食べる中学校生徒が38%と半数以下であり、対策が必要です。</li> <li>・幼少期から薄味の食事に慣れることが大切です。</li> <li>・学齢期において苦手な野菜がある児童・生徒が多く、対策が必要です。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の運動をする頻度が少なく、対策が必要です。</li> </ul>
休養・こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の就寝時間が遅く、適切な休養に関する啓発を行う必要があります。</li> <li>・メディアの適切な使い方に関する啓発を行う必要があります。</li> </ul>
お口の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の虫歯保有率は 0%ですが、学齢期に上がると虫歯を保有する児がいます。虫歯予防対策が必要です。</li> </ul>
生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校および中学校の健康診断結果から、肥満およびやせと判定される児童・生徒が少数おり、子供のころから生活習慣病に関する啓発を行う必要があります。</li> </ul>
たばこ・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期・授乳期の母親の喫煙・飲酒率が 0%のまま維持されることが重要です。また家族の喫煙を 0%にすることが重要です。</li> </ul>
健康危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策として、乳幼児期に必要な予防接種を受けることが重要です。</li> <li>・災害時の健康管理について平常時から考えておく必要があります。</li> </ul>

## 【 働き世代 】

### 〈現状〉

分野	町の取り組み(●) 健康状態に関するアンケート等の集計結果(○)
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●管理栄養士による栄養出前講座や、定期的な栄養相談を実施しています。</li> <li>●町内企業等において食生活改善推進員と連携しながら働き世代に対する食生活指導の取り組みを行っています。</li> <li>●広報に「栄養士によるかんたんレシピ」を掲載し、栄養情報を発信しています。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動教室を実施しています。</li> <li>●健康運動指導士による定期的な健康相談を実施しています。</li> <li>●ケーブルテレビで運動に関する番組を放映しています。</li> <li>○特定健診質問票「1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上実施していない」と回答した人の割合が55.5%と半数以上です。</li> </ul>
休養・こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●こころの健康に関する情報を普及・啓発しています。</li> <li>○ストレスを感じる頻度について「ほぼ毎日・よくある」と回答した割合は20.2%です(75歳以上は4.9%)。</li> </ul>
お口の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●節目年齢の方を対象に個別歯科健診を無料で実施しています。</li> <li>●歯科衛生士による定期的な健康相談を実施しています。</li> <li>●ケーブルテレビで口腔ケアやお口の体操に関する番組を放映しています。</li> <li>○特定健診質問票「かみにくいことがある」と回答した人の割合は23.2%です(群馬県19.6%)。</li> </ul>
生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健診結果説明会を実施し、生活改善のポイントを周知しています。</li> <li>●広報に健康に関する記事を掲載し、健康情報を発信しています。</li> <li>○特定健診受診率は62.8%です(群馬県41.2%)。</li> <li>○特定保健指導実施率は73.1%です(群馬県19.0%)。</li> </ul>
たばこ・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>●禁煙に関する普及啓発をしています。</li> <li>○特定健診受診者の喫煙率は15.8%です(群馬県12.0%)。</li> <li>○特定健診質問票「お酒を毎日飲む」と回答した割合は30.0%です(群馬県23.3%)。</li> </ul>
健康危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染症予防に関する普及啓発をしています。</li> <li>●予防接種の体制を整備しています。</li> </ul>

## 〈課題〉

分野	内容
栄養・食生活	・若い世代のうちから薄味やバランスの取れた食生活を心がけることが大切です。
運動	・日常生活において運動を習慣づける取り組みが必要です。
休養・こころの健康	・ストレスを感じる頻度は、後期高齢者よりも大幅に高く、こころの健康に関する啓発を行う必要があります。
お口の健康	・歯やお口の異常について、早期発見・早期治療にむけた取り組みが必要です。 ・歯周病等による歯の喪失が始まる40代・50代は、特に定期健診が必要です。
生活習慣病	・特定健診未受診者への対策が必要です。
たばこ・アルコール	・たばこをやめたいと思っている人がやめられるよう支援が必要です。 ・たばこ(喫煙・受動喫煙)が健康に及ぼす影響について周知が必要です。 ・毎日お酒を飲む人の割合は県平均より高く、適正な飲酒量や頻度について周知が必要です。
健康危機管理	・災害時の健康管理について平常時から考えておく必要があります。

## 【 高齢者世代 】

### 〈現状〉

分野	町の取り組み(●) 健康状態に関するアンケート等の集計結果(○)
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●管理栄養士による栄養出前講座や、定期的な栄養相談を実施しています。</li> <li>●元気はつらつ教室を実施しています。</li> <li>●在宅介護食教室を実施しています。</li> <li>●認知症カフェにおいて食生活改善推進員と連携しながら食生活指導やおやつ提供を行っています。</li> <li>●広報に「栄養士によるかんたんレシピ」を掲載し、栄養情報を発信しています。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動教室(さわやか・おたっしゃ)やノルディック・ウォーク教室を実施しています。</li> <li>●健康運動指導士による定期的な健康相談を実施しています。</li> <li>●ケーブルテレビで運動に関する番組を放映しています。</li> <li>○後期高齢者質問票「ウォーキング等の運動を週に1回以上実施している」と回答した人の割合は61.0%です(群馬県62.8%)。</li> </ul>
休養・こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●こころの健康に関する情報を普及・啓発しています。</li> <li>○睡眠薬・安定剤を服用している人の割合は22.2%です(74歳以下は7.6%)。</li> <li>○後期高齢者健診質問票「こころの健康状態」について、「満足・やや満足」と回答した人の割合は89.5%です(群馬県91.5%)。</li> </ul>
お口の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歯周疾患検診およびハイリスク者向け個別歯周疾患検診を実施しています。</li> <li>●元気はつらつ教室で歯科医師によるお口の健康講話を実施しています。</li> <li>●歯科衛生士による定期的な健康相談を実施しています。</li> <li>●ケーブルテレビで口腔ケアやお口の体操に関する番組を放映しています。</li> <li>○歯科医に定期的にかかっている人の割合は36.4%です。</li> </ul>
生活習慣病	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健診結果説明会を実施し、生活改善のポイントの説明や生活習慣の見直しの支援をしています。</li> <li>●広報に健康に関する記事を掲載し、健康情報を発信しています。</li> <li>○後期高齢者健診結果のうち血糖(HbA1c)データで異常値を示す人の割合が74.5%です(R2…63.8%、R3…72.1%)。</li> </ul>
たばこ・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> <li>●禁煙に関する普及啓発をしています。</li> <li>○後期高齢者健診受診者の喫煙率はR3年が1.0%、R4年が1.8%です(群馬県4.6%)。</li> <li>○毎日お酒を飲む人の割合は20.7%です。</li> </ul>
健康危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染症予防に関する普及啓発をしています。</li> <li>●予防接種の体制を整備しています。</li> </ul>

## 〈課題〉

分野	内容
栄養・食生活	・高齢者の低栄養を予防する必要があります。
運動	・日常生活において運動を習慣づける取り組みが必要です。
休養・こころの健康	・働き世代に比べると、睡眠薬・安定剤を飲んでいる割合が約3倍です。 ・閉じこもりがちにならないよう、社会参加のおすすめが必要です。
お口の健康	・後期高齢者の半数以上は定期的に歯科受診をしていません。最低でも年に1度は歯科健診を受ける習慣づけが必要です。
生活習慣病	・後期高齢者健診結果において血糖データが異常値を示す人の割合が増加しています。重症化予防について周知が必要です。
たばこ・アルコール	・後期高齢者健診受診者の喫煙率は増加しています。たばこ(喫煙・受動喫煙)が健康に及ぼす影響について周知が必要です。 ・適正な飲酒量や頻度について周知が必要です。
健康危機管理	・災害時の健康管理について平常時から考えておく必要があります。

## IV 目標と施策

現状と課題から、7つのテーマごとに目標項目・値を設定し、目標達成に向けた施策についてまとめました。 ※現状値は基本的に健康状態に関するアンケートの数値です。それ以外は注釈をつけています。

### 1. 栄養・食生活

## 食を通じて健全な身体と豊かな心を育もう

### 【目標】

項目	現状値	目標値
朝食を必ず食べる子の割合 (学校保健アンケート)	小学校 92.0% 中学校 38.0%	100% 100%
主食・主菜・副菜などバランスの取れた食事を心がけている人の割合	87.6%	90.0%
食事を食べるはやさが速い人の割合 (特定健診質問票)	20.6%	15.0%
朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	4.4%	4.0%
減塩のため、薄味を心がけている人の割合	-	70.0%

### 【目標達成に向けた施策】

#### 《町民自らが取り組むこと》

- ・自分の適性体重を知り、体重管理をする。
- ・主食・主菜・副菜を基本としたバランスの良い食生活をする。
- ・朝食を毎日食べる習慣を身につける。
- ・薄味の食事習慣を身につける。
- ・よくかんで食べる習慣を身につける。
- ・健康に関する教室や健康相談を積極的に利用する。

#### 《町民を支えるための町の体制》

- ・保育所や学校と行政が連携して、朝食の大切さを知ってもらえる体制をつくる。
- ・食生活改善推進員と連携し、効果的な栄養・食生活改善活動や食育活動を実施する。
- ・関係機関と連携し、すべてのライフステージへの食育活動を推進する。
- ・健康に関する教室や栄養相談を充実させる。
- ・栄養・食生活に関する科学的根拠に基づいた情報を発信する。

## 2. 運動

# 運動習慣を身につけよう

### 【目標】

項目	現状値	目標値
1回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施していない人の割合 (特定健診質問票)	55.5%	50.0%
日常生活において歩行または同等の身体活動を 1 日1時間以上実施していない人の割合 (特定健診質問票)	47.4%	40.0%
ウォーキング等の運動を週に1回以上実施する人の割合 (後期高齢者健診質問票)	61.0%	70.0%
ロコモティブシンドローム認知度	28.0%	50.0%

### 【目標達成に向けた施策】

#### 《町民自らが取り組むこと》

- ・幼児期・学齢期では、遊びを通して楽しみながら体を動かす時間をつくる。
- ・「〇〇しながら…」の、ながら運動を生活に取り入れ、運動習慣をつくる。
- ・自主的に運動を実施し、継続する。
- ・家族や友人を誘い、運動仲間をつくる。
- ・運動の教室やスポーツイベントに積極的に参加する。
- ・スマホアプリ「G-WALK+」等を活用し、積極的にウォーキングに取り組む。

#### 《町民を支えるための町の体制》

- ・保育所や学校と連携し、幼少期から体を動かすことの大切さを周知するとともに、親子でできる運動遊びについて啓発する。
- ・「〇〇しながら…」の、ながら運動に関する情報を発信する。
- ・スマホアプリ「G-WALK+」等の活用を推奨し、健康ポイント事業と連動した取り組みを実施する。
- ・運動に関する事業やイベントを開催する。
- ・自宅での運動ができるよう、ケーブルテレビ等で運動に関する情報を発信する。
- ・運動の自主グループを支援する。また、自主グループ作りを支援する。

### 3. 休養・こころの健康

## 充実した毎日を送ろう

#### 【目標】

項目	現状値	目標値
眠れないことが続くことがある人の割合	34.8%	32.0%
趣味や生きがいを持っている人の割合	78.8%	82.0%
自分に合ったストレス解消法を持ち、必要に応じて実践できている人の割合	-	70.0%

#### 【目標達成に向けた施策】

##### 《町民自らが取り組むこと》

- ・幼児期・学齢期では、年代に応じた時間帯で早寝・早起き習慣を身につける。
- ・幼児期・学齢期では、メディアの適切な利用について家庭でルールを決める。
- ・趣味や生きがいを持ち、充実した毎日を送る。
- ・自分に合ったストレス解消法を見つけ、必要に応じてリフレッシュできる。
- ・悩みや不安は一人で抱えず、誰かに相談する。
- ・周りに悩んでいる人がいた場合は、声をかけて話を聴き、必要に応じて専門機関へつなげる。

##### 《町民を支えるための町の体制》

- ・地域包括支援センターや社会福祉協議会等と連携し、閉じこもり予防や認知症予防の事業に取り組む。
- ・気軽に利用できる相談の場を設ける。
- ・地域の役員（健康推進員、民生委員、区長など）と連携し、町民の孤立防止に向けた支援を行う。
- ・必要者には適切な支援が受けられるよう、関係機関との連携を強化する。
- ・ライフステージにあわせた良質な睡眠・休養がとれるよう、情報を発信する。
- ・保育所や学校と行政が連携し、メディアの適切な利用について啓発する。

## 4. お口の健康

# 生涯自分の歯で暮らそう

### 【目標】

項目	現状値	目標値
幼児の虫歯の平均本数 (1歳6か月児健診・3歳児健診結果)	0本	0本
小学生の虫歯未処置歯がある 子の割合(学校歯科健診)	永久歯:0% 乳歯:20.8%	0%
中学生の虫歯未処置歯がある 子の割合(学校歯科健診)	0%	0%
固いものが食べにくいと感じる人 の割合(後期高齢者健診)	32.9%	30.0%
お茶・汁物等でむせることがある 人の割合(後期高齢者健診)	19.3%	18.0%
かかりつけ歯科医を持ち、定期 的に検診を受けている人の割合	38.4%	50.0%

### 【目標達成に向けた施策】

#### 《町民自らが取り組むこと》

- ・かかりつけ歯科医をもち、年に1回は健診を受ける。
- ・お口のセルフケアに努める。
- ・ライフステージに合わせた方法でフッ化物(塗布・洗口・歯磨剤など)を利用する。

#### 《町民を支えるための町の体制》

- ・乳幼児向けの歯科健診・歯科指導や希望者へのフッ素塗布の継続およびニーズにあった体制を整える。
- ・町の歯周疾患検診や個別歯科健診の受診勧奨をするとともに、定期的な歯科健診の習慣化について啓発をする。
- ・お口の健康に関する情報を発信する。
- ・各ライフステージにあわせた歯科指導事業を実施する。

## 5. 生活習慣病

# 健診・検診を受けて自分の健康状態を知ろう

### 【目標】

項目		現状値	目標値
健診受診率 (KDB システム)	特定健診	62.9%	65.0%
	後期高齢者 健診	34.9%	45.0%
がん検診受 診率 (地域保健健康 増進事業報告)	肺	32.0%	35.0%
	胃	8.5%	12.0%
	大腸	24.2%	28.0%
	子宮	7.1%	10.0%
	乳	9.5%	13.0%

### 【目標達成に向けた施策】

#### 《町民自らが取り組むこと》

- ・年に1回は健診(若年健診、特定健診、後期高齢者健診)を受ける。
- ・健診結果を確認し、生活習慣を見直す。
- ・町で実施する健診結果説明会や定期健康相談などを利用し、生活習慣の問題を明らかにして改善方法を知る。
- ・健診結果で要医療と判定されたら速やかに医療機関を受診し、重症化予防を図る。
- ・定期的にがん検診を受け、要精密検査と判定されたら速やかに医療機関を受診し、早期発見・早期治療を心がける。

#### 《町民を支えるための町の体制》

- ・健診・検診を受けやすい体制を整える。
- ・健診受診勧奨を強化し、受診率の向上を図る。
- ・健診結果について気軽に相談できる体制を整える。
- ・生活習慣病予防法や重症化予防に関する正しい情報を発信する。

## 6. たばこ・アルコール

# 禁煙と適正飲酒を心がけよう

### 【目標】

項目		現状値	目標値
育児期間中の父親の喫煙率 (3・4か月児健診問診票)		38.5%	0%
毎日お酒を飲む人の割合	特定健診質問票	30.0%	22.0%
	後期高齢者 (健康状態に関するアンケート)	20.7%	15.0%
喫煙率 (健診質問票)	特定健診	17.4%	12.0%
	後期高齢者健診	3.4%	3.0%
COPDに関する認知度		18.8%	35.0%

### 【目標達成に向けた施策】

#### 《町民自らが取り組むこと》

- ・喫煙者は、喫煙による害や依存性について知識をもち、禁煙に取り組む。
- ・飲酒・喫煙を無理に勧めない(20歳未満の人には絶対に勧めない)。
- ・喫煙者は周囲の健康に配慮し、喫煙マナー(分煙・敷地内禁煙など)を守る。
- ・毎日飲酒をする人は、週1～2日の休肝日をつくる。

#### 《町民を支えるための町の体制》

- ・喫煙や受動喫煙による健康への影響について正しい情報を発信する。
- ・妊婦・乳幼児保護者への禁煙指導を継続する。
- ・飲酒の適量や休肝日について正しい情報を発信する。
- ・禁煙や節酒をしたい人を対象とした支援や事業を実施する。
- ・受動喫煙対策として、分煙や敷地内禁煙など徹底した環境整備の推進を図る。
- ・COPDに関する正しい情報を発信する。

## 7. 健康危機管理

### 健康危機に対する意識を高めよう

#### 【目標】

項目		現状値	目標値
事故により医療機関を受診する児の割合 (1歳6か月児健診・3歳児健診問診票)	1歳6か月児	18.2%	0%
	3歳児	16.7%	0%
適切な感染症予防方法を知っている人の割合		-	50.0%
災害時の健康管理について考えている人の割合		-	50.0%
フレイルに関する認知度		29.2%	60.0%

#### 【目標達成に向けた施策】

##### 《町民自らが取り組むこと》

- ・乳幼児の事故防止について正しい知識を理解し、取り組む。
- ・感染症に対する正しい知識を理解し、感染予防に取り組む。
- ・災害時の健康管理について平常時から考える。

##### 《町民を支えるための町の体制》

- ・乳幼児の事故防止に関する普及啓発を徹底する。
- ・感染症流行情報の発信や予防法などについて啓発する。
- ・予防接種体制の整備を図る。
- ・災害時における健康管理体制の整備について平常時から検討する。
- ・フレイルに関する認知度を高め、予防的な取り組みを啓発する。

## V 健康かな21(第2次)最終評価と統計資料

### 1.最終評価

#### ■評価方法

・目標値に対し、『A:目標に達した、B:目標に達していないが改善傾向、C:変わらない、D:悪化している』で判定し、アンケート項目変更等で評価ができないものは、『評価不可』とした。

※表中数値のうち「X」については、個の識別が可能となる恐れがあるため、秘匿値として扱ったものです

### 【7つの課題の評価】

#### 1) 栄養・食生活

	指標	最終評価対象	策定時 現状値	目標値	実績値	評価
こども	① 生後6か月まで母乳で育てる割合	6か月児	66.7%	100%	-	評価不可
	② おやつ時間が決まっていない児の割合	1歳6か月児	42.9%	30%	45.5%	D
		3歳児	12.5%	0%	33.3%	D
	③ 大人と同じ味付けをする児の割合	3歳児	62.5%	30%	91.7%	D
	④ 朝食を毎日食べる子の割合	小学校	82.2%	100%	92.0%	B
中学校		93.3%	100%	38.0%	D	
⑤ 肥満の子の割合	小学校	11.1%	0%	8.3%	B	
	中学校	40.0%	0%	7.1%	B	
おとな	⑥ やせの割合	若年者健診	9.1%	5%	0%	A
		特定健診	5.6%	3%	6.3%	C
		後期高齢者健診	10.9%	5%	5.6%	B
	⑦ 肥満の割合	若年者健診	35.7%	30%	50.0%	D
		特定健診	22.3%	20%	29.3%	D
		後期高齢者健診	15.4%	10%	20.4%	D
	⑧ 主食・主菜・副菜などのバランスの取れた食事を心がけている人の割合	19歳以上	88.8%	95%	87.6%	C
	⑨ 朝食を抜くことがある人の割合	特定健診	5.4%	0%	3.2%	B
		後期高齢者健診	4.3%	0%	3.1%	B
	⑩ 高齢者の貧血の割合	75歳以上	29.4%	15%	35.7%	D

- ① アンケート項目の変更により評価不可となっているが、生後1か月時点の栄養法は母乳:30.8%、混合栄養:69.2%である。
- ③ 3歳児健診対象児の食事において、大人と同じ味付けにしている家庭が90%以上であり、子ども向けのうす味にしている家庭が少ない。
- ④ 中学校における朝食を毎日食べる生徒の割合が大幅に減少している。朝食を「ほとんど食べない」と回答している生徒もいる。
- ⑤ 肥満の子の割合が小学校・中学校ともに減少している。
- ⑥ 若年健診対象者におけるやせの割合は0%であった。
- ⑦ 各年代において肥満の割合が増加している。
- ⑧ 75歳以上の貧血の割合はやや増加傾向にある。

## 2) 身体活動・運動

	指標	最終評価対象	策定時現状値	目標値	実績値	評価
こども・おとな	① 1日30分以上、軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合	特定健診	41.9%	60%	55.5%	B
		後期高齢者健診	48.3%	60%	-	評価不可
	② ロコモティブシンドロームを知っている人の割合	19歳以上	9.0%	50%	30.8%	B

- ① 特定健診受診者における運動実践者の割合が増加している。  
 ② ロコモティブシンドロームについて「言葉も意味も知っている」人の割合は11.4%。言葉も知っている人と合わせると30.8%であり、認知度は上がっている。

## 3) 休養・こころの健康

	指標	最終評価対象	策定時現状値	目標値	実績値	評価
こども	① 夜9時までに寝る児の割合	1歳6か月児	71.4%	80%	36.4%	D
	② 朝7時までに起きる児の割合	1歳6か月児	57.1%	70%	36.4%	D
	③ テレビ(ビデオやスマホ含む)を2時間以上見る児の割合	1歳6か月児	14.3%	10%	-	評価不可
	④ 朝6時半までに起きる子の割合	小学校	20.0%	50%	75.0%	A
	⑤ 夜11時までに寝る子の割合	中学校	51.0%	70%	42.8%	D
おとな	⑥ 自殺者数	19歳以上	X	0人	X	評価不可
	⑦ 眠れない日が続くことがある人の割合	19歳以上	32.0%	10%	37.8%	D
	⑧ 趣味や生きがいを持っている人の割合	19歳以上	82.0%	95%	78.8%	D

- ①、② 夜9時までに寝る児および朝7時までに起きる児の割合は大きく減少し、夜寝る時間が遅い児や朝起きる時間が遅い児の割合が増加している。  
※ただし、児の数が減少したことで割合が高く出ている可能性あり  
 ③ アンケート項目の変更により評価不可となっているが、3歳児健診対象児において、テレビ(ビデオやスマホ含む)を2時間以上見る児の割合は41.7%である。  
 ⑧ 趣味や生きがいを持っている人の割合がやや減少傾向にある。

#### 4) たばこ・アルコール

	指標	最終評価対象	策定時 現状値	目標値	実績値	評価
おとな	① たばこを吸っている人の割合	20歳以上の男性	18.4%	10%	-	評価不可
		20歳以上の女性	2.4%	1%	-	評価不可
	② 毎日お酒を飲む人の割合	特定健診	20.1%	15%	30.0%	D
		後期高齢者健診	20.2%	15%	20.7% ※アンケート結果	C

- ① アンケート項目の変更により評価不可としたが、特定健診質問票では男性 22.2%、女性 3.9%、後期高齢者質問票では男性 1.0%、女性 1.0%となっている。
- ② 特定健診受診者のうち毎日お酒を飲む人の割合が増加している。

#### 5) 歯と口腔の健康

	指標	最終評価対象	策定時 現状値	目標値	実績値	評価
こども	① 虫歯の保有率	1歳6か月児	0.0%	0%	0%	A
		3歳児	0.0%	0%	0%	A
	② 仕上げ磨きをする割合	1歳6か月児	100%	100%	81.8%	D
	③ 食後の歯磨きをする児の割合	小学校	87.5%	100%	-	評価不可
	④ 虫歯未処置歯のある子の割合	小学校	8.9%	0%	20.8% ※乳歯	D
		中学校	7.1%	0%	0%	A
⑤ 歯周疾患のある子の割合	小学校	8.9%	0%	37.5%	D	
	中学校	7.1%	0%	46.2%	D	
おとな	⑥ かかりつけ歯科医を持ち、定期検診を受けている人の割合	19歳以上	34.0%	50%	38.4%	B
	⑦ 80歳で自分の歯を20本以上有する人の割合	80歳以上	10.0%	30%	8.9%	D

- ① 1歳6か月児、3歳児の虫歯保有率 0%が維持できている。
- ② 仕上げ磨きをしている割合は減少している。なお、残りの 18.2%については、子自身は磨かずに保護者によって磨いているのみの割合である。
- ⑤ 歯周疾患のある子の割合が、小学校・中学校ともに大幅に増加している。  
※ただし、児童・生徒数が減少したことで割合が高く出ている可能性あり
- ⑥ かかりつけ歯科医を持ち、定期検診を受ける人の割合がやや増加している。
- ⑦ アンケートによる自歯本数の結果から算出した 8020 達成者の割合はやや減少している。

## 6) 生活習慣病

	指標	最終評価対象	策定時 現状値	目標値	実績値	評価
おとな	① 若年者健診受診者数	若年者健診	14人	30人	8人	D
	② 特定健診受診率	特定健診	51.4%	65%	62.8%	B
	③ 後期高齢者健診受診者数	後期高齢者健診	221人	270人	229人	C
	④ メタボリックシンドローム該当者の割合	特定健診	18.1%	10%	27.2%	D
	⑤ メタボリックシンドローム予備軍該当者の割合	特定健診	12.2%	8%	10.6%	B
	⑥ 特定保健指導実施率	特定保健指導該当	50.0%	80%	73.1%	B
	⑦ COPDを知っている人の割合	19歳以上	6.8%	50%	18.8%	B
	⑧ 生活を改善するつもりがない人の割合	特定健診	63.4%	50%	35.8%	A
		後期高齢者(アンケート)	74.4%	60%	54.4%	A
	⑨ 脂質(LDLコレステロール)の異常値を示す人の割合	若年者健診	21.3%	15%	50%	D
		特定健診	47.8%	30%	37.0%	B
		後期高齢者健診	32.1%	20%	30.6%	B
	⑩ 脂質(HDLコレステロール)の異常値を示す人の割合	若年者健診	0%	0%	37.5%	D
		特定健診	9.7%	5%	12.0%	D
		後期高齢者健診	13.1%	10%	12.0%	C
	⑪ 脂質(中性脂肪)の異常値を示す人の割合	若年者健診	14.2%	10%	50%	D
		特定健診	18.8%	15%	16.8%	C
		後期高齢者健診	10.0%	8%	13.9%	D
	⑫ 血圧の異常値を示す人の割合	若年者健診	7.1%	0%	12.5%	D
		特定健診	53.6%	40%	47.1%	B
		後期高齢者健診	53.8%	50%	61.1%	D
	⑬ 糖代謝(HbA1C)の異常値を示す人の割合	若年者健診	28.6%	20%	0%	A
		特定健診	50.5%	30%	66.8%	D
		後期高齢者健診	50.2%	35%	74.5%	D
	⑭ 尿酸の異常値を示す人の割合	若年者健診	0%	0%	12.5%	C
特定健診		9.1%	5%	9.1%	C	
後期高齢者健診		10.0%	8%	11.6%	C	
⑮ クレアチニンの異常値を示す人の割合	若年者健診	0%	0%	12.5%	D	
	特定健診	3.1%	0%	29.8%	D	
	後期高齢者健診	10.0%	5%	57.4%	D	

- ① 若年者の健診者数が減少。  
 ② 特定健診受診率は増加傾向にある。  
 ④ メタボリックシンドローム該当者の割合が大きく増加している。  
 ⑥ 特定保健指導実施率は大きく増加している。  
 ※一時期 100%となった年もあるが、効率的・効果的な指導を実施するために、前年度指導対象となり指導を実施した場合には今年度は指導を実施せず翌年度に指導(原則2年に1回の指導)としている  
 ⑧ 生活を改善するつもりがない人の割合は特定健診および後期高齢者健診において減少し、目標を達成できている。  
 ⑨～⑪ 若年者健診受診者における脂質異常を示す人の割合が大きく増加している。  
 ※ただし、健診受診者の母数が少数であることから割合が大きくなっている可能性あり  
 ⑬、⑮ 糖代謝、クレアチニンの異常値を示す人の割合は、特定健診および後期高齢者健診において大きく増加している。

## 7)がん

	指標	最終評価対象	策定時 現状値	目標値	実績値	評価
おとな	① 肺がん検診受診率	40 歳以上	46.5%	50%	32.0%	D
	② 胃がん検診受診率	40 歳以上	15.3%	50%	8.5%	D
	③ 大腸がん検診受診率	40 歳以上	32.0%	50%	24.2%	D
	④ 子宮がん検診受診率	20 歳以上	13.0%	50%	7.1%	D
	⑤ 乳がん検診受診率	40 歳以上	14.5%	50%	9.5%	D
	⑥ 前立腺がん検診受診率	50 歳以上	31.3%	50%	21.9%	D

①～⑥ 各種がん検診受診率は減少傾向にある。

## 2.統計資料

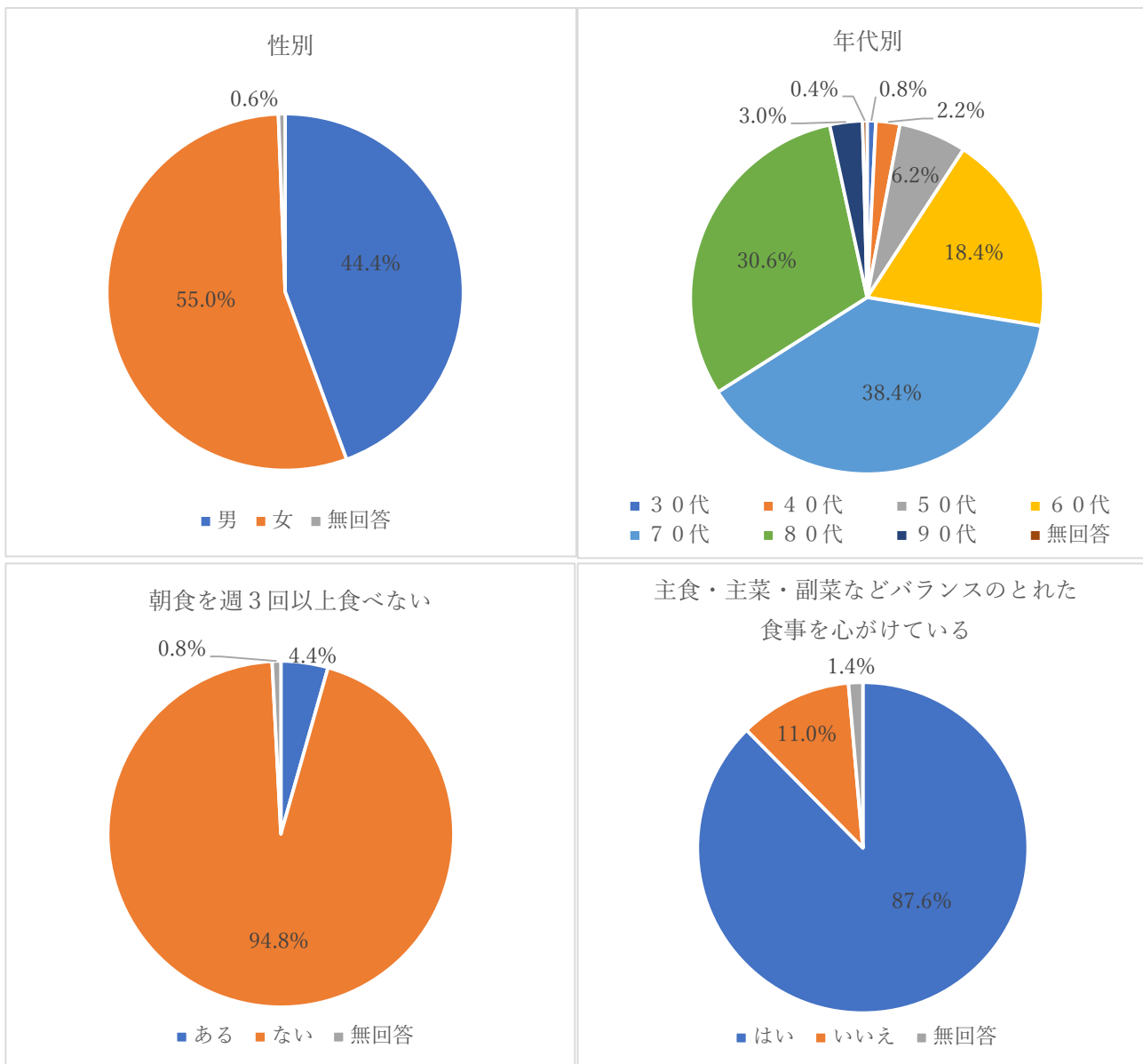
### 1)健康状態等に関するアンケート

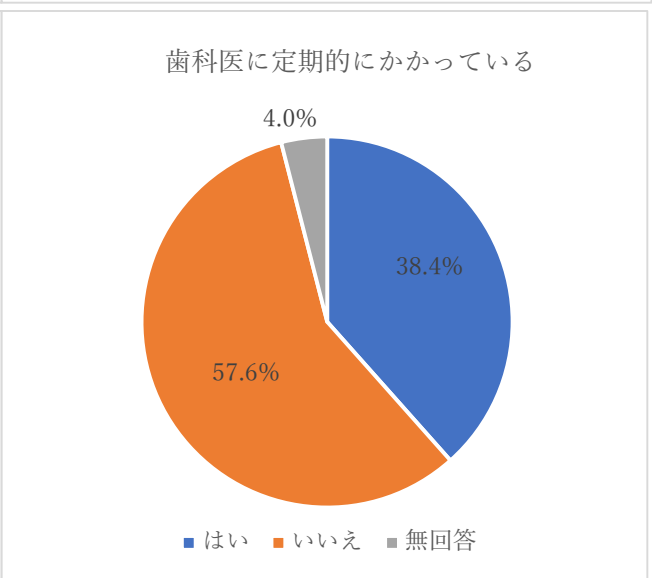
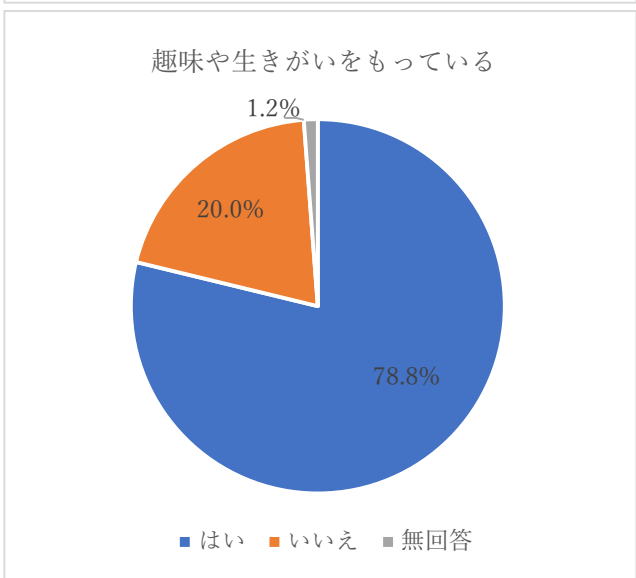
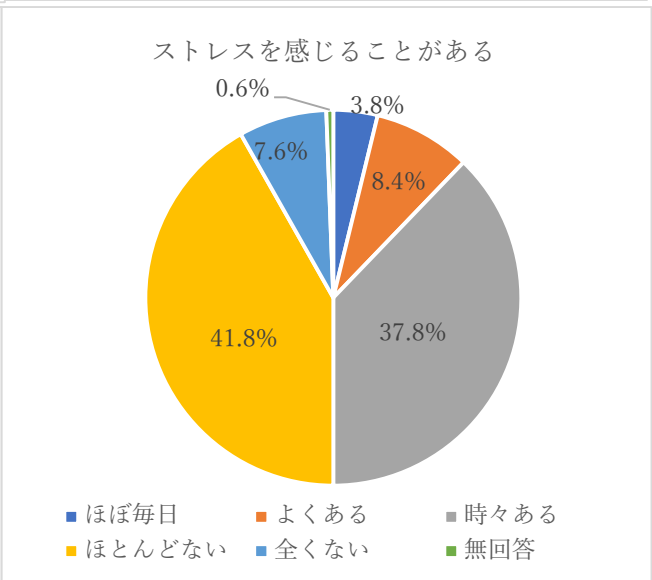
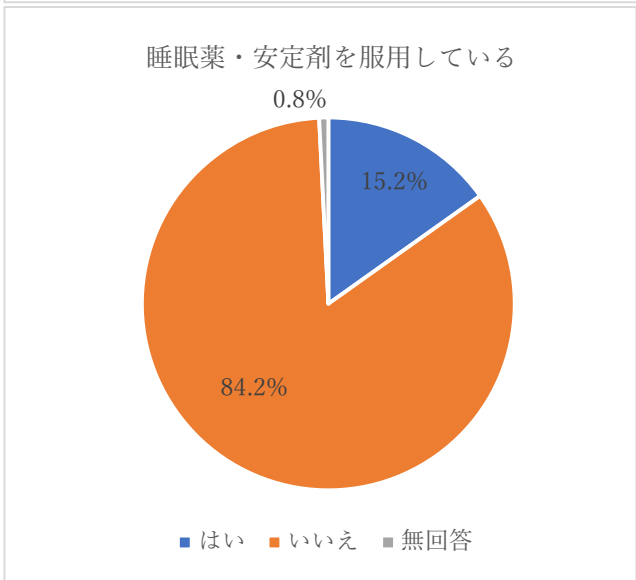
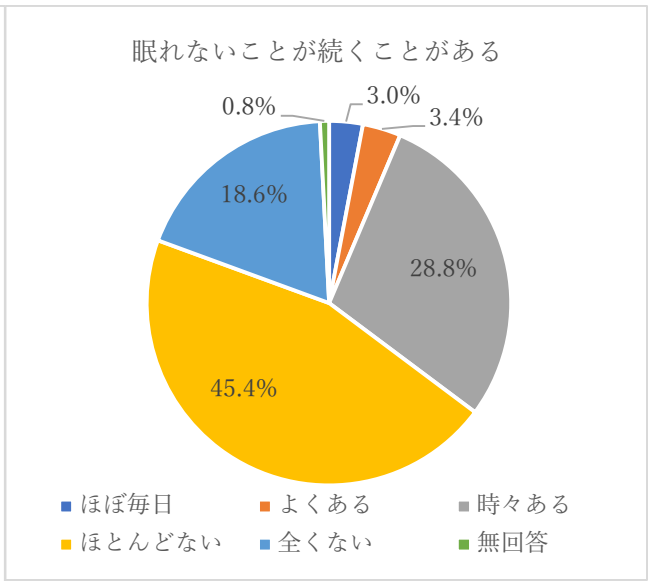
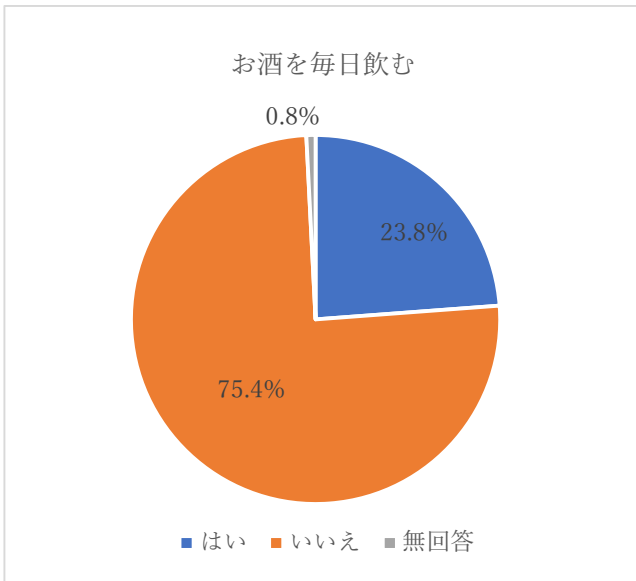
健康増進の取組を総合的に推進するため、町民の日常生活の習慣や「健康」についての意識などを把握することを目的として、「健康状態に関するアンケート調査」を実施しました。

#### ■令和5年度 健康状態に関するアンケート調査の概要

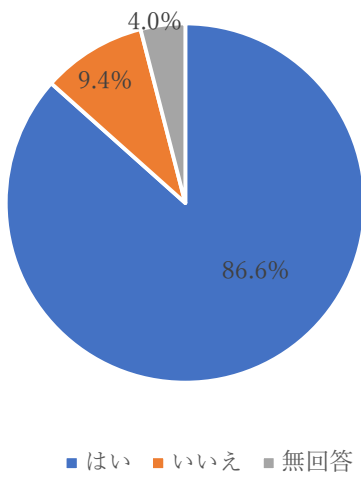
- ・対象者：住民健診又はがん検診受診者
- ・提出方法：住民健診、がん検診時に会場で回収
- ・調査期間：令和5年7月4日(火)～令和5年7月7日(金)
- ・回収数：500 (74歳以下:237、75歳以上:261、無回答:2 \* 男性:222、女性:275、無回答:3)
- ・調査結果は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- ・アンケート結果は、全体、75歳以下、75歳以上で集計しています。

#### 【全体の集計結果】

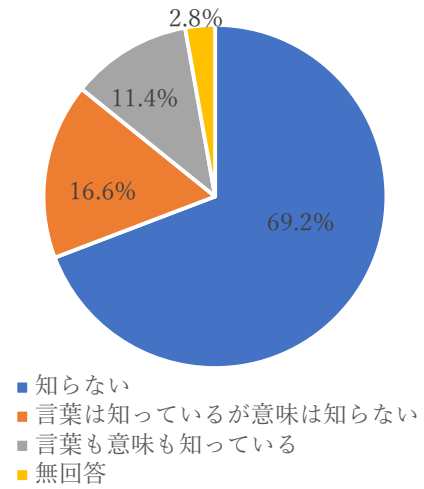




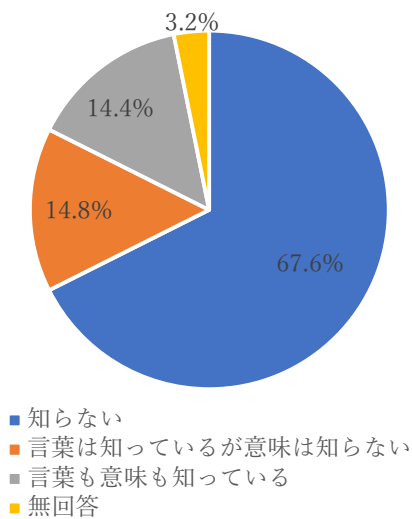
お住まいの地域で住民同士が互いに助け合っている



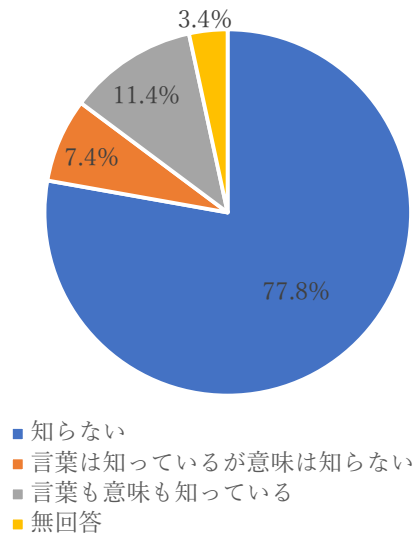
ロコモティブシンドロームという言葉を知っている



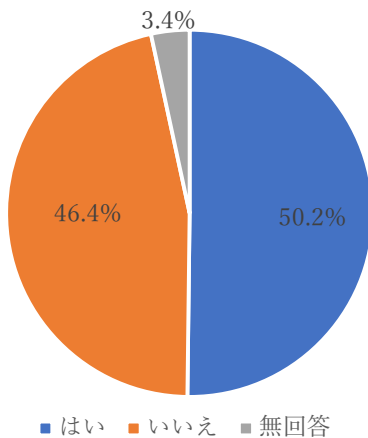
フレイルという言葉を知っている



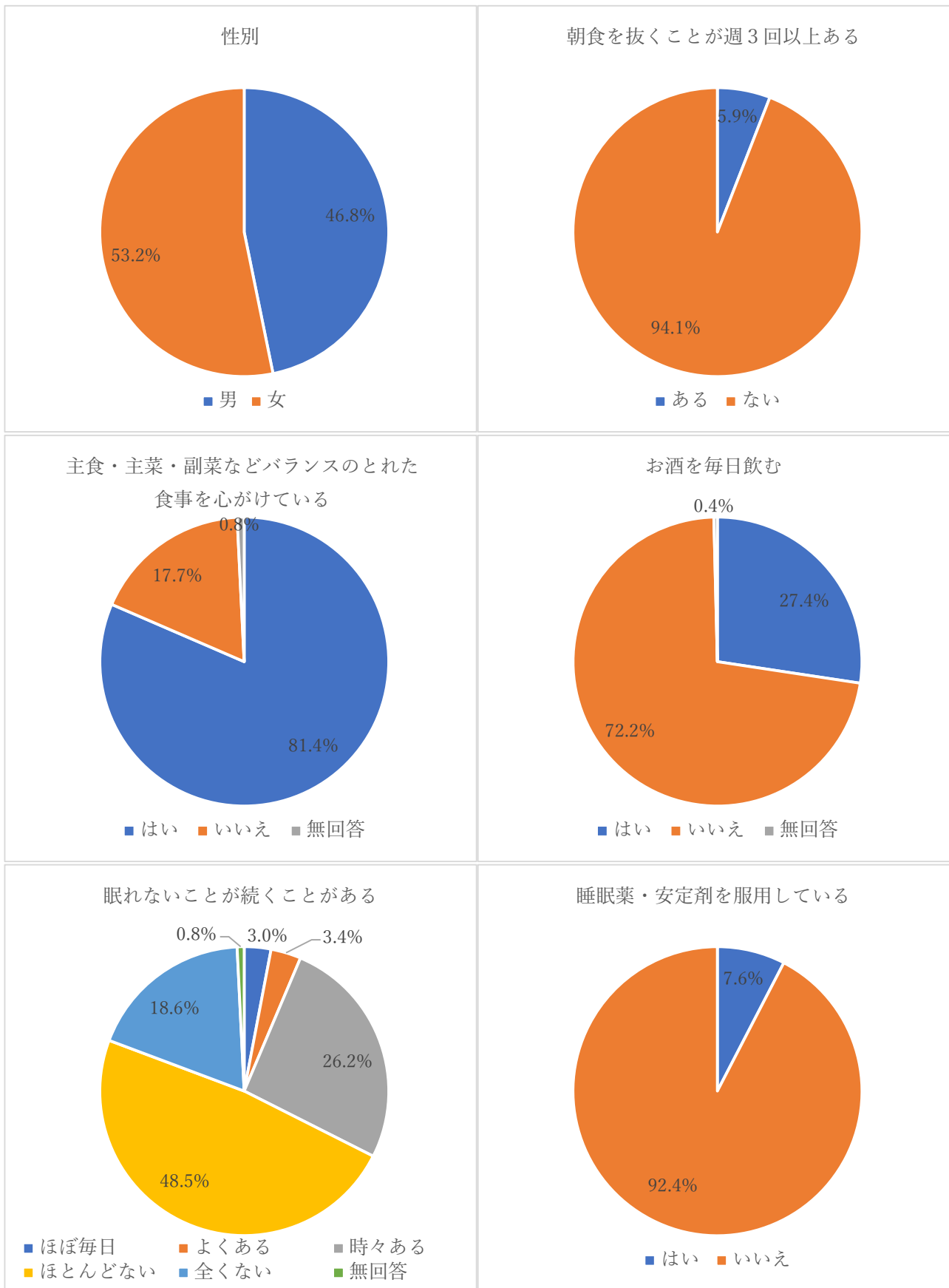
COPDという言葉を知っている



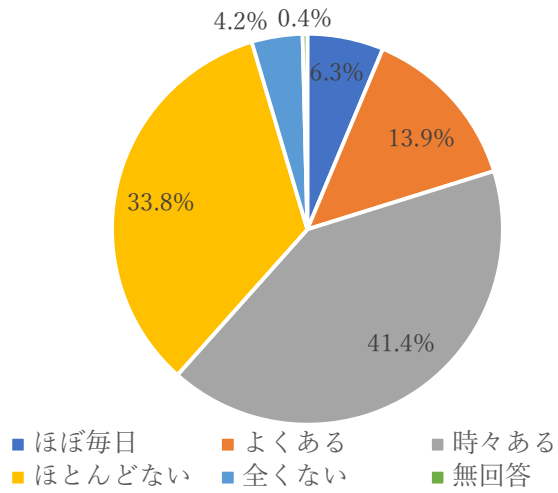
運動や食生活の生活習慣を改善してみようと思う



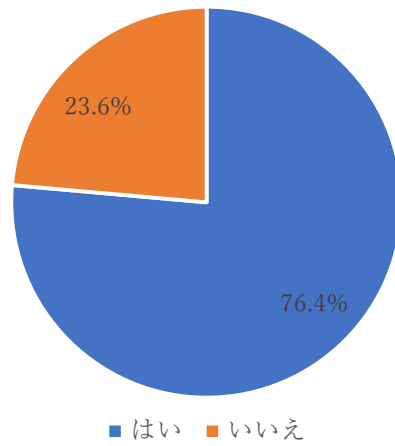
【74歳以下の集計結果】



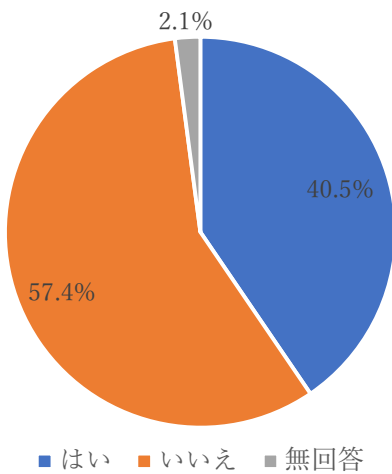
ストレスを感じることもある



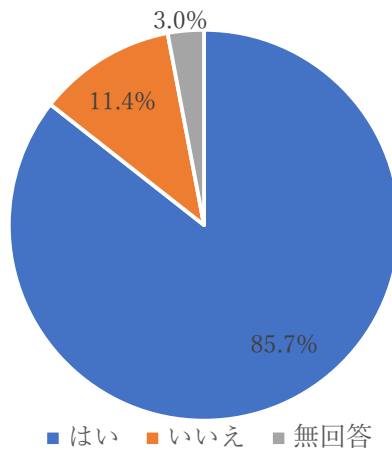
趣味や生きがいをもっている



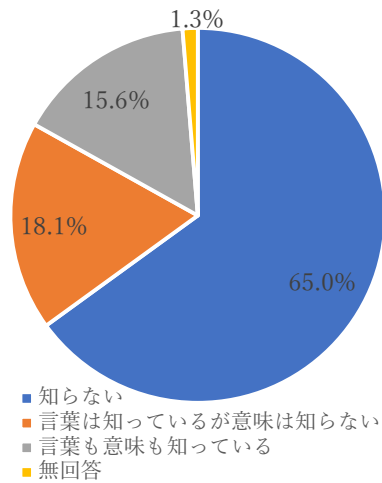
歯科医に定期的にかかっている



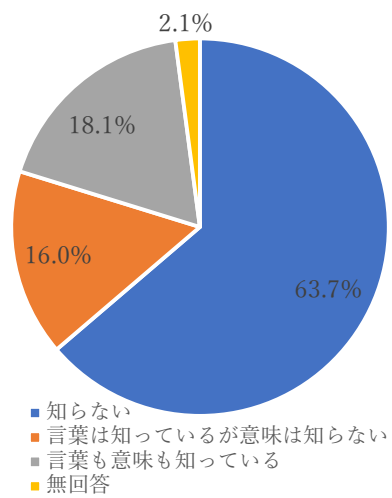
お住まいの地域で住民同士が互いに助け合っている



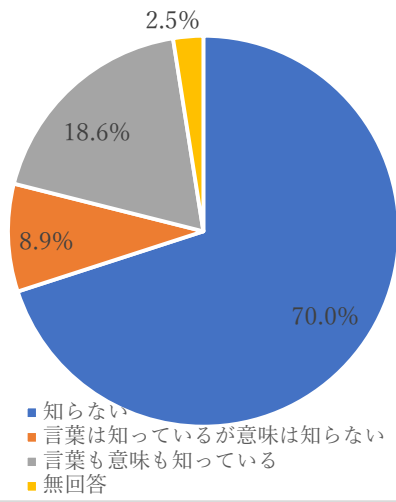
ロコモティブシンドロームという言葉を知っている



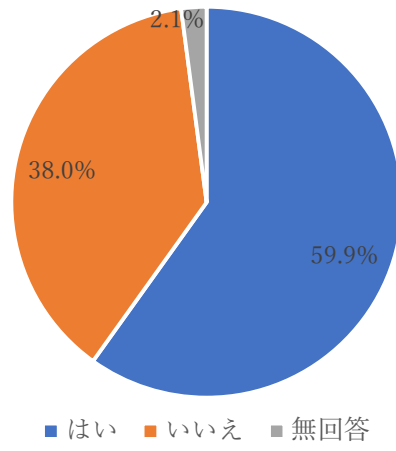
フレイルという言葉を知っている



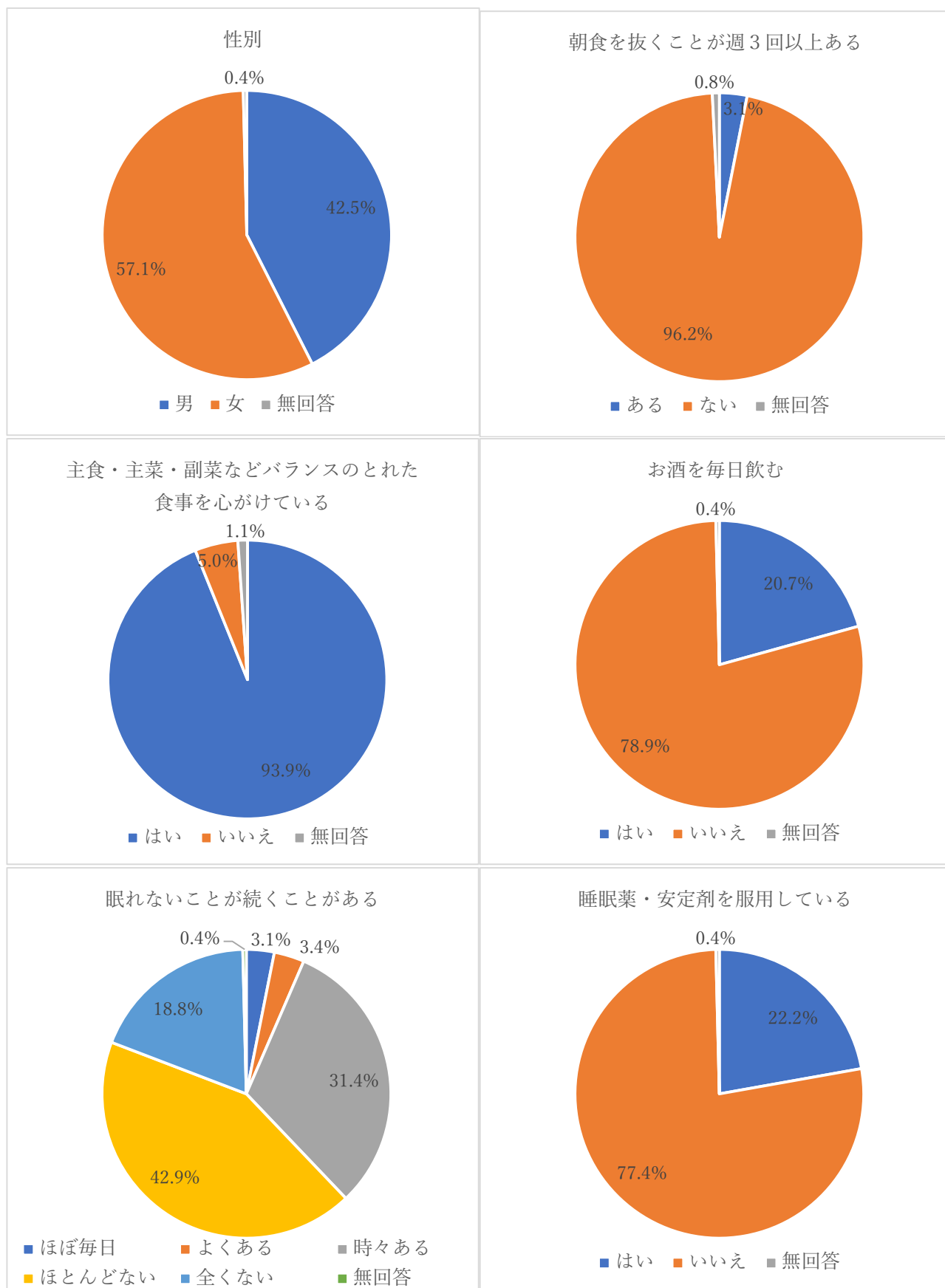
COPDという言葉を知っている



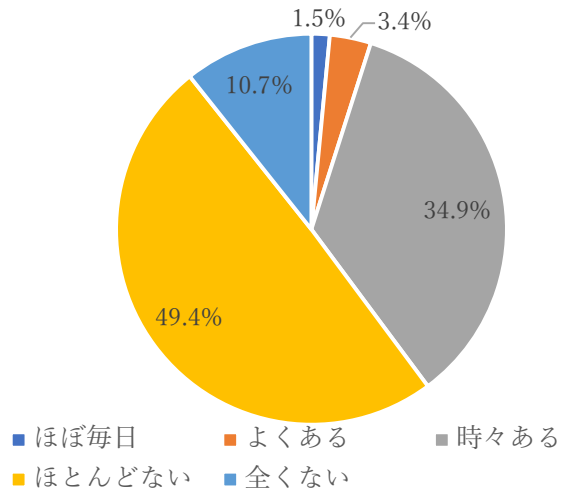
運動や食生活の生活習慣を改善してみようと思う



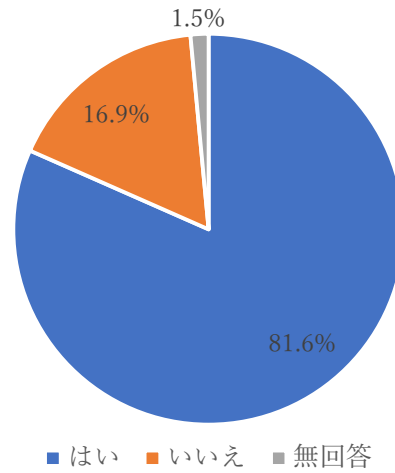
【75歳以上の集計結果】



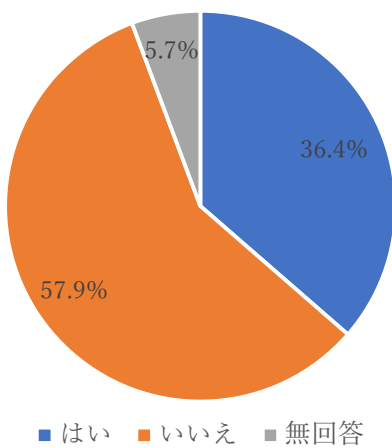
ストレスを感じることもある



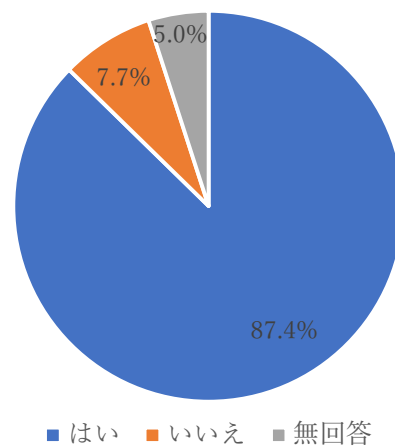
趣味や生きがいをもっている



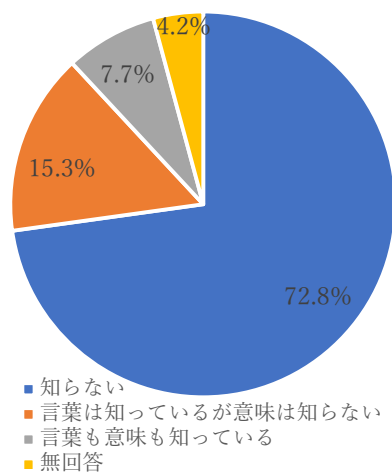
歯科医に定期的にかかっている



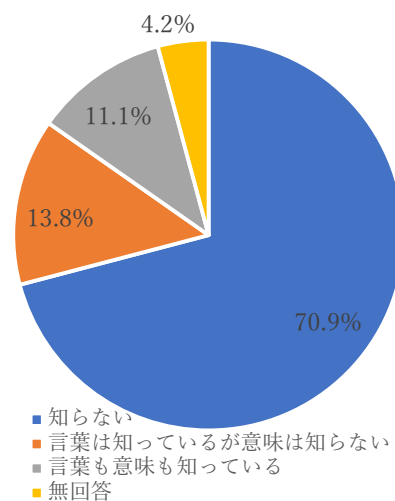
お住まいの地域で住民同士が互いに助け合っている



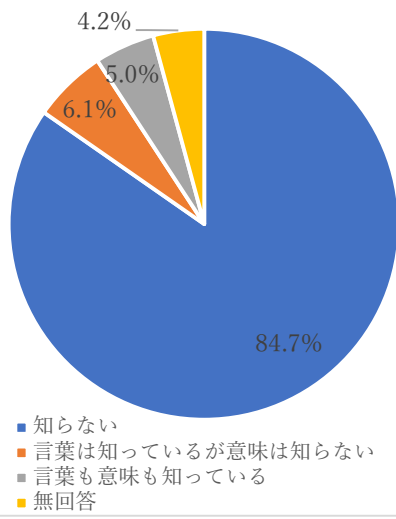
ロコモティブシンドロームという言葉を知っている



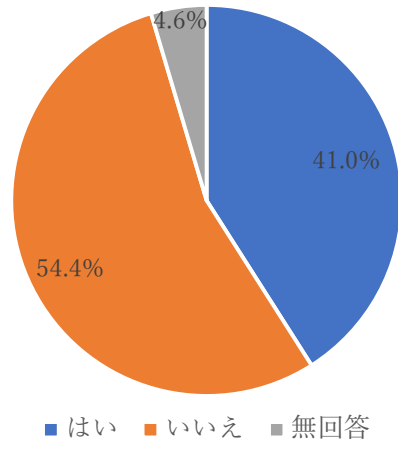
フレイルという言葉を知っている



COPDという言葉を知っている



運動や食生活の生活習慣を改善してみようと思う



## 2)若年健診・特定健診・後期高齢者健診における各種集計データ

### ① 若年健診・特定健診・後期高齢者健診における受診率や検査結果等集計データ

#### ■各種健診受診率等

	R1	R2	R3	R4	県(R4)
若年健診受診者数	7人	3人	4人	8人	-
特定健診受診率	53.9%	54.0%	57.8%	62.8%	41.4%
後期高齢者健診受診率	31.2%	29.3%	31.5%	35.1%	32.8%

#### ■メタボリックシンドローム関係

	R30	R1	R2	R3	R4	県(R4)
メタボリックシンドローム該当率	21.8%	26.0%	29.5%	24.1%	27.2%	21.5
メタボリックシンドローム予備軍該当率	9.7%	9.3%	8.8%	11.0%	10.6%	11.6
特定保健指導実施率	50.0%	75.0%	71.4%	100%	100%	19.0
特定保健指導実施率(積極的支援)	55.6%	43.5%	100%	100%	72.0%	-
特定保健指導実施率(動機付け)	54.2%	51.6%	92.3%	100%	73.1%	-

#### ■健診検査項目における有所見者の状況

		R1	R2	R3	R4	
血圧	若年健診	14.3%	33.3%	0%	12.5%	
	特定健診	53.9%	65.4%	56.2%	47.1%	
	後期高齢者健診	66.3%	72.5%	73.7%	61.1%	
血中脂質	LDL コレス テロール	若年健診	0%	0%	25.0%	50.0%
		特定健診	17.6%	46.9%	44.8%	37.0%
		後期高齢者健診	37.1%	35.2%	37.9%	30.6%
	HDL コレス テロール	若年健診	0%	0%	0%	37.5%
		特定健診	13.2%	8.9%	9.5%	12.0%
		後期高齢者健診	12.2%	9.2%	9.5%	12.0%
	中性脂肪	若年健診	0%	0%	0%	50.0%
		特定健診	17.6%	20.1%	19.0%	16.8%
		後期高齢者健診	14.1%	13.8%	16.3%	13.9%
血糖 (HbA1c)	若年健診	0%	0%	0%	0%	
	特定健診	61.0%	58.7%	65.7%	66.8%	
	後期高齢者健診	61.1%	63.8%	72.1%	74.5%	
肝機能	若年健診	14.3%	0%	50.0%	50.0%	
	特定健診	60.8%	25.1%	34.8%	30.3%	
	後期高齢者健診	20.0%	26.0%	28.4%	23.2%	
腎機能 (e-GFR)	若年健診	57.1%	0%	0%	12.5%	
	特定健診	37.4%	25.7%	30.5%	29.8%	
	後期高齢者健診	55.6%	43.4%	56.8%	57.4%	
貧血	若年健診	14.3%	66.7%	75.0%	25.0%	
	特定健診	17.0%	17.3%	24.8%	25.5%	
	後期高齢者健診	34.2%	31.1%	41.1%	35.7%	
尿酸	若年健診	14.3%	0%	0%	12.5%	
	特定健診	8.8%	11.2%	11.4%	9.1%	
	後期高齢者健診	10.2%	9.7%	10.0%	11.6%	

## ② 特定健診・後期高齢者健診における質問票の集計データ

### ■特定健診質問票

* 特定健診質問票集計				
項目	回答	R3	R4	県 (R4) (%)
服薬	高血圧症	44.3	42.9	37.7
	糖尿病	8.9	11.3	9.0
	脂質異常症	30.4	31.6	28.1
既往	脳卒中	3.4	4.9	3.0
	心臓病	8.5	6.9	5.4
	慢性腎臓病・腎不全	0.4	1.6	0.8
	貧血	11.1	13.4	11.6
喫煙	喫煙	14.3	15.8	12.0
体重	20歳時体重から10kg以上増加	30.2	33.6	35.0
運動	1回30分以上の運動習慣なし	58.3	55.5	56.3
	1日1時間以上運動なし	47.2	47.4	46.3
	歩行速度遅い	22.6	20.2	43.8
口腔	なんでもかめる	74.5	76.8	79.8
	かみにくい	25.5	23.2	19.6
	ほとんどかめない	0.0	0.0	0.6
食習慣	食事を食べる速さ*速い	20.9	20.6	24.6
	食事を食べる速さ*普通	72.8	72.5	68.2
	食事を食べる速さ*遅い	6.4	6.9	7.2
	週3回以上就寝前夕食	14.7	14.7	15.6
	間食*毎日	9.8	12.2	16.4
	間食*時々	61.3	58.9	61.5
	間食*ほとんど摂取しない	28.9	28.9	22.1
飲酒	週3回以上朝食を抜く	6.0	3.2	8.3
	毎日	28.9	30.0	23.3
	時々	20.9	19.0	20.8
飲酒量	飲まない	50.2	51.0	56.0
	1合未満	39.0	41.5	50.6
	1～2合	39.0	39.0	34.4
	2～3合	19.5	18.6	12.0
睡眠	3合以上	2.5	0.8	3.0
	睡眠不足	18.9	20.1	22.9
生活習慣改善	改善意欲なし	38.7	35.8	29.3
	改善意欲あり	26.8	21.5	25.3
	改善意欲ありかつ始めている	11.1	13.4	17.9
	取組済み6ヵ月未満	7.7	8.9	7.6
	取組済み6ヵ月以上	15.7	20.3	19.8
	保健指導利用しない	63.5	66.5	62.5

(出典:KDBシステム)

### ■後期高齢者健診質問票

* 後期高齢者健診質問票集計				
項目	回答	R3	R4	県 (R4) (%)
健康状態	よい	14.8	14.0	21.0
	まあよい	8.4	14.9	15.4
	ふつう	65.0	60.1	54.3
	あまりよくない	8.4	8.8	8.3
	よくない	3.4	2.2	1.0
心の健康状態	満足	52.2	42.1	45.2
	やや満足	37.4	47.4	46.3
	やや不満	8.9	8.8	7.4
食習慣	不満	1.5	1.8	1.1
	1日3食きちんと食べる	96.5	97.8	95.7
	固い物が食べにくい	36.5	32.9	30.6
口腔機能	お茶・汁物等でむせる	21.7	19.3	23.2
	体重変化	6ヵ月で2～3kg以上の体重減少	10.8	10.5
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	64.5	61.0	57.1
	この1年間に転んだ	19.7	21.1	18.2
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	59.6	61.0	62.8
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	8.9	16.7	16.5
	今日の日付がわからないときあり	26.1	23.3	24.6
喫煙	すっている	1.0	1.8	4.6
	すっていない	80.3	81.6	79.2
	やめた	18.7	16.7	16.2
社会参加	週に1回以上は外出	81.8	82.5	89.5
	家族や友人と付き合いがある	99.0	96.9	94.4
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	95.1	98.2	96.1
医療情報服薬状況	高血圧症	67.3	64.0	65.1
	糖尿病	13.7	13.2	15.0
	脂質異常症	42.9	39.9	41.6
医療情報受診状況	1ヵ月当たりの内服種類数	4.0	4.0	4.0
	1ヵ月当たりの医療機関数	0.9	0.8	0.8
	半年間の病院等受診	96.1	95.2	97.0
	半年間の歯科受診	39.5	37.3	50.0
医療情報	睡眠薬	29.3	27.2	26.4

(出典:KDBシステム)

### ■喫煙率（特定健診・後期高齢者健診質問票回答による）

	特定健診			後期高齢者健診		
	R3	R4	県(R4)	R3	R4	県(R4)
全体	14.3%	15.8%	12.0%	1.0%	1.8%	4.6%
男性	22.2%	24.3%	20.9%	1.0%	2.7%	8.6%
女性	3.9%	5.4%	5.0%	1.0%	0.9%	1.8%

(出典:KDB システム帳票)

### 3) 学齢期の健康に関するデータ (令和5年度 小・中学校健康診断集計、健康・栄養調査等集計結果)

#### 健康診断結果

##### ■肥満・やせの割合

	小学校	中学校
肥満	8.3%	7.1%
やせ	4.2%	7.1%

##### ■歯科健診結果

	小学校	中学校
永久歯の虫歯未処置のある子	0%	0%
乳歯の虫歯未処置のある子	20.8%	-
歯周疾患のある子	37.5%	46.2%

#### 栄養・食生活

##### ■朝食を毎日食べる子の割合(小学校)

必ず食べる	92.0%
週2～3日食べない	8.0%

##### ■朝食を毎日食べる子の割合(中学校)

必ず食べる	38.0%
週2～3日食べない	54.0%
週4～5日食べない	0%
ほとんど食べない	8.0%

##### ■苦手な野菜がある

小学校	中学校
66.7%	53.8%

#### 休養・こころの健康・メディア利用

##### ■起床・就寝時間(小学校)

起床時間	
～6時	33.3%
6時～6時半	41.7%
6時半～7時	16.7%
7時～7時半	8.3%
7時半～	0.0%

就寝時間	
～21時	29.2%
21時～21時半	12.5%
21時半～22時	33.3%
22時～22時半	12.5%
22時半～	12.5%

##### ■起床・就寝時間(中学校)

起床時間	
～6時	7.1%
6時～6時半	14.3%
6時半～7時	35.7%
7時～7時半	28.6%
7時半～	14.3%

就寝時間	
～22時	7.1%
22時～22時半	0.0%
22時半～23時	35.7%
23時～23時半	28.6%
23時半～	28.6%

##### ■メディアの利用時間

	《小学校》1日のメディアの時間	《中学校》普段メディアを学習以外で使う1日当たりの時間
～1時間	16.7%	14.3%
1～2時間	20.8%	14.3%
2～3時間	29.2%	42.9%
3～4時間	20.8%	14.3%
4時間以上	12.5%	14.3%

#### 運動

##### ■運動の時間・頻度

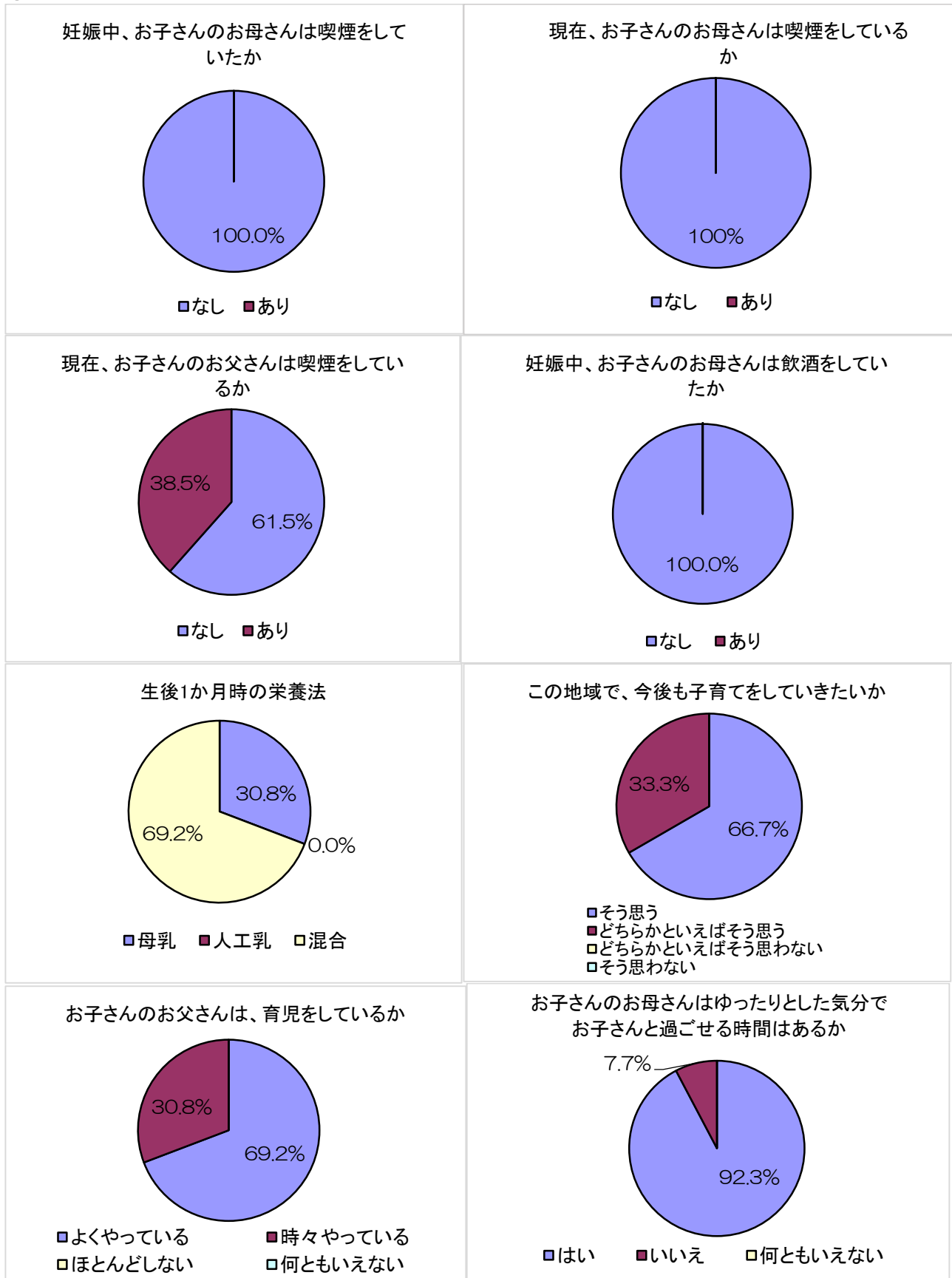
《小学校》1日あたりの運動・運動遊びの時間	
40分未満	8.3%
40～49分	12.5%
50～59分	16.7%
60～69分	25.0%
70～79分	25.0%
80～89分	8.3%
90分以上	4.2%

《中学校》1回30分以上の運動やスポーツをどのくらいの頻度で実践しているか	
毎日している	28.6%
週に3～5日	28.6%
週に1～2日	42.9%
全くしていない	0.0%

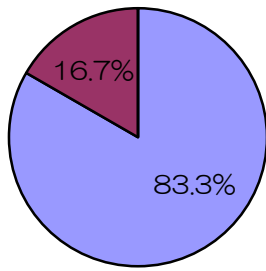
#### 4) 乳幼児健康診査問診票集計データ ※少人数のため、平成30年度～令和4年度分の結果を集計

その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しているため、合計が100%にならない場合があります

##### ① 3・4か月児健診

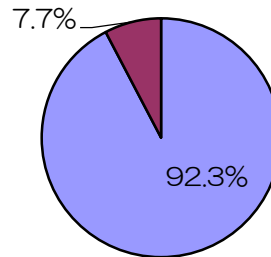


お子さんのかかりつけ医師はいるか



□はい ■いいえ

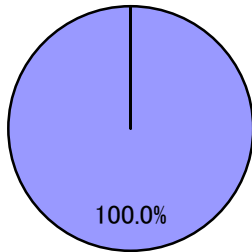
地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っているか



□はい ■いいえ

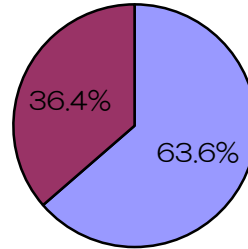
## ② 1歳6か月児健診

現在、お子さんのお母さんは喫煙をしているか



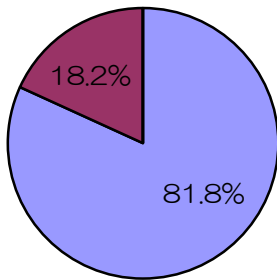
□なし ■あり

現在、お子さんのお父さんは喫煙をしているか



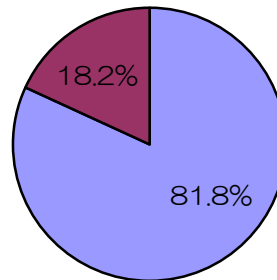
□なし ■あり

保護者が毎日仕上げ磨きをするか



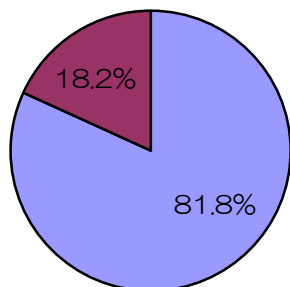
□仕上げ磨きをしている ■保護者だけで磨いている  
□子どもだけで磨いている □磨いていない

四種混合(ジフテリア・百日せき・ポリオ)の予防接種(第1期初回3回)を済ませているか



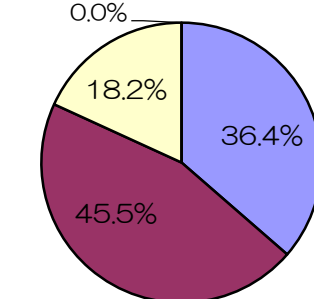
□はい ■いいえ

麻しん・風しんの予防接種を済ませているか



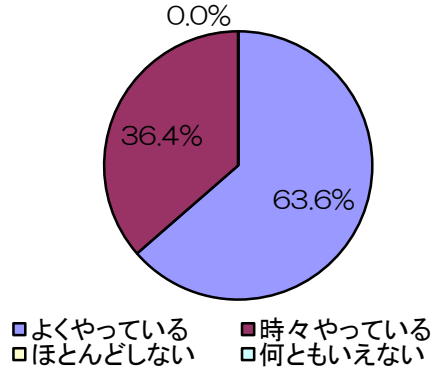
□はい ■いいえ

この地域で今後も子育てをしていきたいか

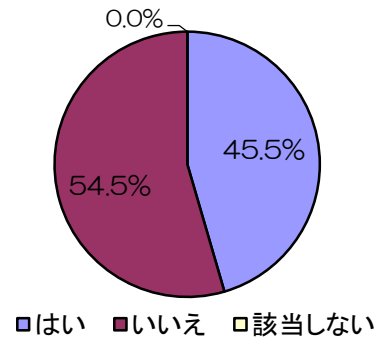


□そう思う ■どちらかといえばそう思う  
□どちらかといえばそう思わない □そう思わない

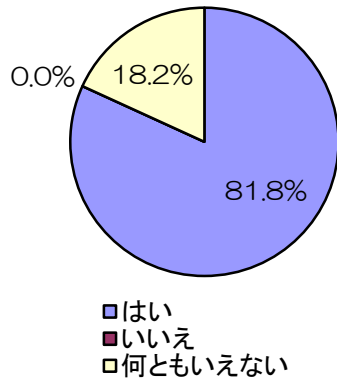
お子さんのお父さんは育児をしているか



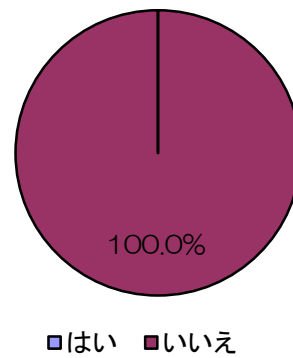
浴室のドアには、子どもが一人で開けることができないような工夫がしてあるか



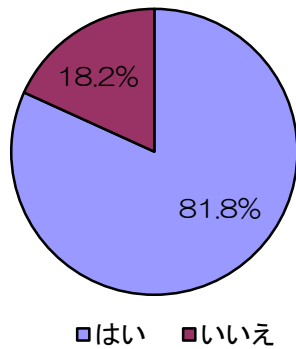
お子さんのお母さんはゆったりとした気分で  
お子さんと過ごせる時間があるか



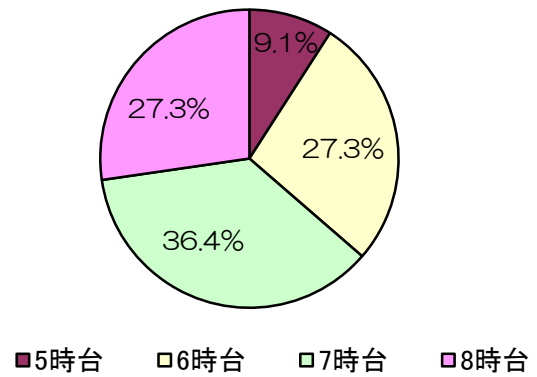
哺乳ビンを使っているか



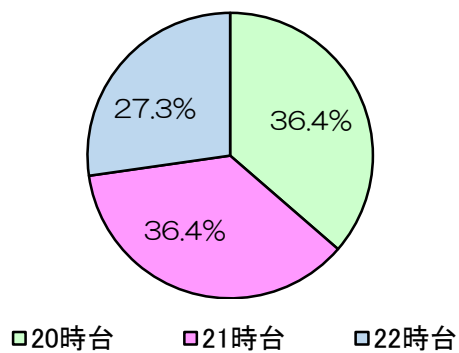
食事や間食(おやつ)の時間はだいたい決ま  
まっているか



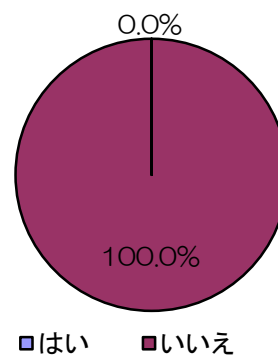
朝起きる時間



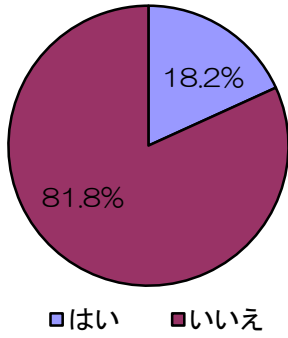
夜寝る時間



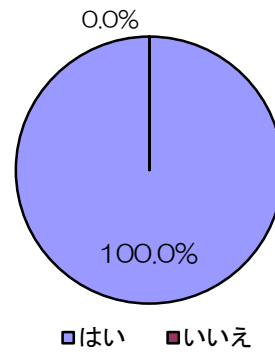
甘い飲み物(ジュースなど)をよく飲むか



これまで事故で病院にかかったことがあるか

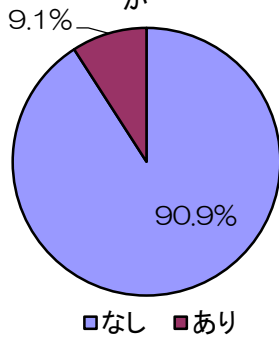


地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っているか

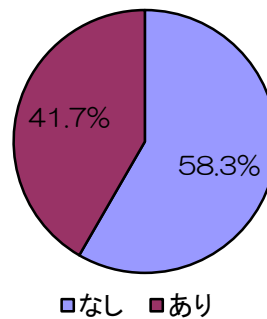


### ③ 3歳児健診

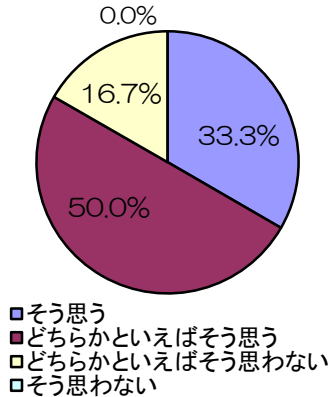
現在、お子さんのお母さんは喫煙をしているか



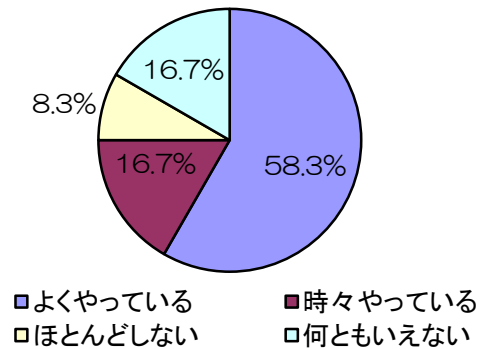
現在、お子さんのお父さんは喫煙をしているか



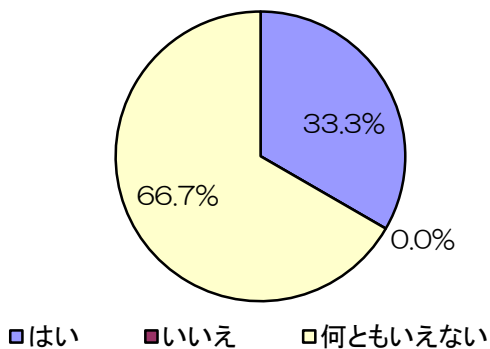
この地域で、今後も子育てをしていきたいか



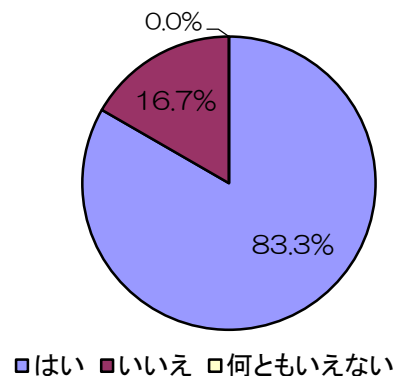
お子さんのお父さんは育児をしているか



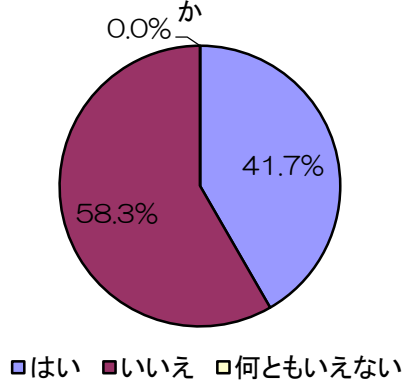
お子さんのお母さんはゆったりとした気分で  
お子さんと過ごせる時間があるか



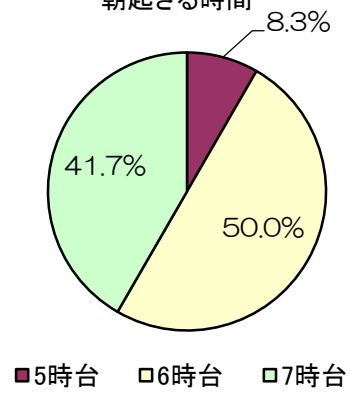
お子さんのかかりつけの医師はいるか



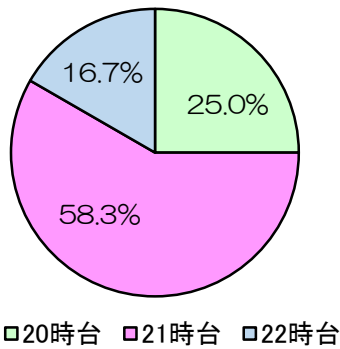
お子さんのかかりつけの歯科医師はいるか



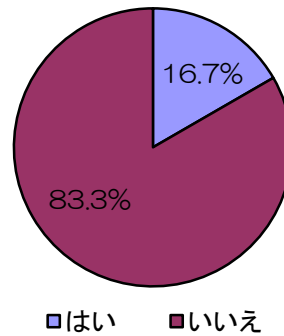
朝起きる時間



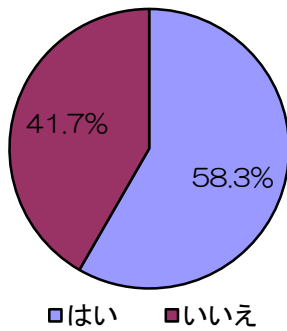
夜寝る時間



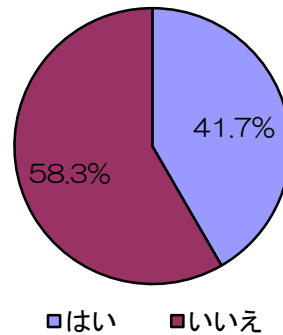
甘い飲み物(ジュースなど)をよく飲むか



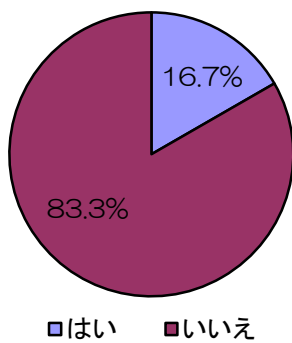
偏食や小食など食事について心配なことはあるか



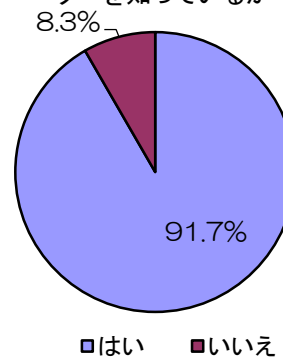
お子さんはテレビやDVDなどを1日2時間以上見ているか



これまで事故で病院にかかったことがあるか



地域の子育てサークルや子育て支援センターを知っているか



## VI 推進体制

### 1 神流町健康増進計画策定委員会条例

(趣旨)

第1条 この条例は、町民の主体的、自発的な健康づくり運動を推進し、長期的な視点に立って具体的な目標を設定した神流町健康増進計画を策定するため、神流町健康増進計画策定委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 神流町健康増進計画に関する具体的な計画の策定
- (2) 策定に必要な情報の収集
- (3) その他計画に必要な事項

(組織)

第3条 委員会は委員13人以内で組織し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱又は任命する。

- (1) 健康に関わる組織、団体の代表者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 町民代表者
- (4) その他神流町健康増進計画策定に必要と認める者

2 委員の任期は、第2条の事務が終了した日までとする。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は委員の互選により定める。
- 3 会長は委員会を代表し、会務を総理するとともに会議の議長となる。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は会長が必要に応じ招集する。

(検討部会)

第6条 策定委員会に第2条に関する具体的事項について調査検討するため、各分野の町民代表等による検討部会を置く。

- 2 検討部会に部会長、副部会長を置く。
- 3 副部会長は部長を補佐し、部長に事故あるときはその職務を代理する。
- 4 検討部会で調査検討した事項は、委員会に報告する。

(報酬及び費用弁償)

第7条 策定委員の報酬及び費用弁償は、神流町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成15年神流町条例第35号）の定めるところによる。

(庶務)

第8条 委員会及び検討部会の庶務は、保健福祉課に置いて処理する。

(その他)

第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

## 2 策定委員名簿

職 名	役 職	氏 名	備 考
委 員	神流町議会総務常任委員長	三 澤 望 太	
委 員	食生活改善推進協議会長	櫻 井 順 子	
委 員	神流町健康推進員代表	今 井 苗 枝	
委 員	藤岡保健福祉事務所長	相 原 誠 一	
委 員	万場診療所長	田 中 雅 史	
委 員	中里診療所長	小 野 長 太 郎	
委 員	神流町歯科診療所長	谷 越 康 洋	
委 員	区長会長	櫻 井 覚 雄	
委 員	万場小学校養護教諭	河 野 実 代	
委 員	中里中学校養護教諭	中 里 麻 実	
委 員	神流町婦人会長	高 橋 和 子	
委 員	神流町保育所保育士	田 村 亜 紀	
委 員	藤岡保健福祉事務所 管理栄養士	大 竹 奏 衣	
事務局長	保健福祉課長	野 村 佳 男	
事 務 局	保健福祉課長補佐	飯 塚 洋 樹	
事 務 局	保健福祉課 保健師	小 林 恵	
事 務 局	保健福祉課 保健師	菊 池 淳 美	
事 務 局	保健福祉課 管理栄養士	寺 崎 奈 央	

### 3 策定経過

開催日	会議名等	備考
令和5年12月21日	策定委員会検討部会 ○健康推進員研修会 ・町民の健康データに関する勉強会 ・町の健康課題および施策について考えるワークショップ①	
令和6年2月29日	策定委員会検討部会 ○健康推進員研修会 ・町の健康課題および施策について考えるワークショップ②	
令和6年5月30日	策定委員会検討部会 ○健康推進員研修会 ・健康推進員代表者の選出（健康増進計画策定委員） ・健康増進計画に関する勉強会	健康推進員改選 （任期:令和6・7年度）
令和7年7月15日	策定委員会検討部会 ○健康推進員研修会 ・町の健康課題および施策について考えるワークショップ①	
令和8年1月28日	第1回 健康増進計画策定委員会（書面開催）	





---

## 健康かな 21(第3次)

～ 神流町健康増進計画・神流町食育推進計画・神流町健やか親子 21 ～

発行年月 令和8年3月  
発行 群馬県神流町  
編集 保健福祉課保健係  
〒370-1592  
群馬県多野郡神流町大字万場 90 番地 6  
電話 0274-57-2111  
FAX 0274-57-2715

---